

共通総合教育科目

(東京上野キャンパス)

(4) 共通総合教育科目(東京上野キャンパス)

凡例		○：必修科目													
		区分最低修得単位：科目区分ごとの修得すべき最低単位数（必修＋選択）													
科目区分		科目番号	授 業 科 目	科目単位	週授業時間数								区分最低 修得単位		
					1年		2年		3年		4年				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
自己発見力（文化理解）	人との関わり	0171	東アジア史	2	2								10 単位 修得		
		0158	やさしい哲学	2			2								
		0152	現代社会に生きる倫理	2				2							
		0551	体育実技Ⅰ	1			2								
		0552	体育実技Ⅱ	1				2							
	社会との関わり	0252	現代社会の諸相	2		2									
		0915	技術と経営	2			2								
		0254	法学	2			2								
		0916	環境学	2		2									
工学基礎力	基礎学力	0507	数学入門Ⅰ	2	2							6 単位 修得			
		0508	数学入門Ⅱ	2		2									
		0509	基礎物理Ⅰ	2	2										
		0510	基礎物理Ⅱ	2		2									
		0362	化学入門	2			2								
		0363	高分子化学	2				2							
	技術者入門	0251	産業と人間	2	2										
		0256	企業倫理	2					2						
社会人基礎力	国際化	0499	英語入門Ⅰ	2	2							18 単位 修得			
		0500	英語入門Ⅱ	2		2									
		0501	実用英語Ⅰ	2			2								
		0502	実用英語Ⅱ	2				2							
		0503	総合英語Ⅰ	2			2								
		0504	英会話入門	2				2							
		0505	基礎中国語	2	2										
		0506	中国語	2		2									
		0067	日本語講座AⅠ	2	4										
		0068	日本語講座AⅡ	2		4									
		0069	日本語講座BⅠ	2			4								
		0070	日本語講座BⅡ	2				4							
	キャリア教育	0159	コミュニケーション技術Ⅰ	1					2						
		0160	コミュニケーション技術Ⅱ	1						2					
		0939	キャリアデザインⅠ	1			2								
		0940	キャリアデザインⅡ	1				2							
		0934	ベンチャービジネス論	2				2							
		0936	経営リーダーシップ論	2				2							
		0935 (1954)	マーケティング論（マーケティング論Ⅰ）	2	2										
		1955	マーケティング論Ⅱ	2		2									
共通総合教育科目 計				68								34	2		
													36		

※科目の実施時期は変更される場合がある。

教科番号	0171	授業科目:	東アジア史 (East Asian History)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	1年	2単位	担当者: 鈴木 康治
【授業の到達目標】 東アジア地域の歴史的経緯を踏まえて、同地域に現在見られる文化や民族等の多様性を理解できること、および同地域の今後の発展や国際秩序のあり方について、歴史的な視点において考察できるようになることが本講義としての到達目標です。					
【授業の概要】 国民国家の枠組みを所与としてその歴史を学ぶ、いわゆる一国史観に基づく歴史理解の弊害が指摘されています。グローバル化が進行する今日においては、国民国家という近代的な枠組みの重要性を相対化し、時間的にも空間的にもより大きな視野のもとで歴史を見直すことができる知的な柔軟性が求められています。本講義ではそうした歴史理解をめぐる近年の動向を意識しつつ、東アジア地域の歴史を概観します。中華という理念を中心に展開してきた東アジア地域の歴史的な歩みを学びつつ、同地域の世界観や国際秩序のあり方について考えます。					
【授業要旨】					
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)	
1	イントロダクション	講義の概要	シラバスの内容を確認する。 授業内容を復習する。	30 60	
2	東アジア文明の基層Ⅰ	古代東アジア世界の形成	テキスト(pp.7-10)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
3	東アジア文明の基層Ⅱ	古代中国の世界観	テキスト(pp.30-35)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
4	東アジア文明の基層Ⅲ	古代統一王朝の成立と華夷秩序	テキスト(pp.36-46)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
5	東アジア文明の基層Ⅳ	律令国家と北方民族	テキスト(pp.48-54)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
6	1回～5回のまとめ	ディスカッションおよび小レポートの作成を通じてこれまでの授業内容の理解を深める。	小レポートのテーマを考える。 ディスカッションの内容をまとめる。	120 60	
7	東アジアの世界帝国Ⅰ	東アジア地域の自立化	テキスト(pp.55-60)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
8	東アジアの世界帝国Ⅱ	モンゴル王朝と帝国システム	テキスト(pp.60-64)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
9	東アジアの世界帝国Ⅲ	大航海時代と朝貢貿易	テキスト(pp.64-72, 110-111)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
10	東アジアの世界帝国Ⅳ	清王朝の成立と文化摩擦	テキスト(pp.64-72, 180-182)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
11	東アジアの近代化Ⅰ	開国と近代化	テキスト(pp.191-199)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
12	東アジアの近代化Ⅱ	民族主義と民主化運動	テキスト(pp.183, 198-199, 210-216)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
13	東アジアの近代化Ⅲ	ナショナリズムと反帝国主義戦争	テキスト(pp.169, 234-239, 246-249)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60	
14	東アジア地域の将来	今後の東アジア地域の秩序のあり方をディスカッションおよび小レポートの作成を通じて考察する。	戦後の東アジアの歩みをノートにまとめる。 ディスカッションの内容をまとめる。	120 60	
15	まとめ	総括と展望	期末試験の準備 ノートの整理とまとめ	60 120	
【テキスト】		『詳説世界史研究(改訂版)』木下康彦・吉田寅・木村靖二(編集) 山川出版社			
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜紹介する。			
【成績評価基準・方法】		授業への参加状況を小レポートの内容(35%)から評価し、講義内容の理解およびその応用力を筆記試験(65%)によって評価します。			

教科番号	0158	授業科目：やさしい哲学(Compendious Philosophy: 簡明哲学)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	2年 2単位	担当者：丹野 健一郎
【授業の到達目標】 古今東西の文明で傑出した人物の生き方や考え方などを学ぶ。 本講義を通じて、受講生の資料読解能力、思考推理能力、レポート作成能力、あるいは意見発表能力を養うことを目的とする。				
【授業の概要】 東西文明の歴史を振り返るとともに、先人たちの生き方や価値観を知る。毎回の講義のはじめに前回の講義内容の確認をする。 現代社会で自分の存在や自分が生きてゆくことの意義を考える。なお、毎年、本講義は多くの外国人留学生在が受講するが、日本語の表現能力に個人差があるため、基礎的な部分から講義を行い、理解しやすいように努める。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	本講義のガイダンス	講義内容の説明、要求課題などの説明	講義に関するガイダンス実施	全体で 90分
2	中国の哲学①	孔子の思想	前回の振り返り、 孔子の哲学思想	30 60
3	中国の哲学②	老子の思想	前回の振り返り、 老子の哲学思想	30 60
4	イスラーム哲学	イスラーム哲学	前回の振り返り、 イスラーム哲学思想	30 60
5	キリスト教哲学	キリスト教哲学	前回の振り返り、 キリスト教の哲学思想	30 60
6	仏教哲学	仏教哲学	前回の振り返り、 仏教の哲学思想	30 60
7	中間まとめ	これまでの講義内容を振り返る、および学生と議論をして、理解を深める。	前回の振り返り、 授業回1～5の振り返り	30 60
8	ギリシア哲学①	プラトンを中心として	前回の振り返り、 プラトンについて	30 60
9	ギリシア哲学②	ソクラテスを中心として	前回の振り返り、 ソクラテスについて	30 60
10	ギリシア哲学③	アリストテレスを中心として	前回の振り返り、 アリストテレスについて	30 60
11	絵画から見た哲学の世界①	騙し絵の世界	前回の振り返り、 騙し絵とは？	30 60
12	絵画から見た哲学の世界②	宗教画の世界	前回の振り返り、 宗教画の世界	30 60
13	現代の哲学①	私たちはどのように生きるべきか①	前回の振り返り、 現代哲学思想について	30 60
14	現代の哲学②	私たちはどのように生きるべきか②	前回の振り返り、 現代哲学思想について	30 60
15	本講義全体のまとめ	全体的なまとめ	前回の振り返り、 授業回8～13の振り返り	30 60
【テキスト】		主にプリントを使用。		
【参考書・参考資料等】		参考図書は講義内で随時、紹介する。		
【成績評価基準・方法】		毎回、講義内容についてのレポートを作成すること、および積極的な発言と期末試験で70%、出席点で30%の合計100%とし、総合的に評価する。		

教科番号	0152	授業科目： 現代社会に生きる倫理(Ethics in Modern Society)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者:	丹野 健一郎
【授業の到達目標】 (外国人留学生が多く履修する科目として)受講者の多様な価値観を尊重しつつ、多角的な視点から、お互いの意見をきちんと発表できるように努力することを目標とする。本講義の受講者は、日本語を母語としない外国人留学生が多いため、彼らの理解力に合わせた内容、および彼らが日本で「(何かを一生懸命に)考えるきっかけ」を与えられるようなテーマも選んだ。この講義を選択する受講者には、欠席をせず、またインターネットからの知識に頼りすぎない自分の意見(オリジナル)を期待したい。				
【授業の概要】 講義の中で紹介された事例について、自分の意見や相手の意見を整理し、共通点や相違点としてまとめるだけでなく、善悪の判断、さらには自分の価値観や考え方をしっかり持つためにはどうしたらよいかを考える。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	授業ガイダンス	授業ガイダンス	授業説明、 授業に関する相談	60
				30
2	あなたはと思う？①	ペットのお墓は必要か？	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
3	あなたはと思う？②	あなたは英雄になれますか？	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
4	あなたはと思う？③	人を見かけで判断することは正しいのか？	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
5	あなたはと思う？④	海外で生きてゆくことについて	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
6	あなたはと思う？⑤	カンニング(試験の不正行為)の歴史	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
7	中間まとめ	①～⑤の振り返り、討論	①～⑤まとめ、 ①～⑤内容について討論	45
				45
8	あなたはと思う？⑥	お金で買えるもの、買えないものはある？	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
9	あなたはと思う？⑦	正直者が馬鹿を見る！？	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
10	あなたはと思う？⑧	よく生きるためにはどうすべきか？	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
11	あなたはと思う？⑨	日本人のいろいろな生き方について	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
12	あなたはと思う？⑩	幸せとは何か？	前回の振り返り、 今回の内容について	45
				45
13	中間まとめ	⑥～⑩の振り返り、討論	⑥～⑩まとめ、 ⑥～⑩内容について討論	45
				45
14	ゲストスピーカーによる講演、 または映像視聴	講演に対する質問、または映像に関する議論	視聴、 議論	45
				45
15	全体のまとめ	まとめ	①～⑤まとめ、 ⑥～⑩まとめ	45
				45
【テキスト】		教員作成のプリントを使用する。		
【参考書・参考資料等】		適宜、授業内で参考となる書籍を紹介する。		
【成績評価基準・方法】		毎回、講義時間内に小レポートを作成するため、早退はしないこと。(作成しない場合は、欠席となる。)なお、不真面目な態度はマイナス評価となるため、注意すること。 (評価の目安:小レポートと期末試験 70% + 出席態度 30%)		

教科番号	0551	授業科目: 体育実技 I (Physical Education Practice I)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 1単位	担当者:	木路 修平
【授業の到達目標】 講義によって生涯生活における QOL の向上に対する運動・スポーツの役割を理解する。また体力テストの実施を通して、身体測定の方法を理解し、自身の体力レベルの現状を把握することを到達目標とする				
【授業の概要】 超高齢化社会に向け、生活習慣病予防など健康な生活におけるスポーツの重要性を理解し、実際に身体を動かすことを通して心身の発達および学生の協調性を養う。生活にその質の向上(クオリティ オブ ライフ:QOL)が求められる現代において、生活に「健康・楽しみ・交流」をもたらす手段としての一生を通じ、継続できるスポーツ種目を見つけることとする。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	学習目的の説明	体育実技授業の目的と実施方法を理解する	90
2	講義:健康とスポーツ①	スポーツの成り立ちと QOL の向上のための健康と運動の関係	健康とスポーツの関係を理解する	90
3	講義:健康とスポーツ②	生活習慣病予防における運動の重要性及び喫煙が健康に及ぼす影響	生活習慣が健康に及ぼす影響を理解する	90
4	実技:ウォーミングアップとクーリングダウン	実技:ウォーミングアップとクーリングダウン	ウォーミングアップ、クーリングダウンの具体的方法を知る	90
5	実技:体力テスト	柔軟性・平衡感覚及び脚筋力テスト	実際の自分の体力の現状を知る	90
6	実技:体力テスト	持久力テスト(シャトルラン)	実際の自分の体力の現状を知る	90
7	実技:フィットネストレーニング①	バランスボールを使ったトレーニング	バランスボールを用いた具体的なトレーニング法を知る	90
8	実技:フィットネストレーニング②	バランスボールを使ったトレーニング	バランスボールを用いた具体的なトレーニング法を知る	90
9	実技:フィットネストレーニング③	メディシンボールを使ったトレーニング	メディシンボールを用いた具体的なトレーニング法を知る	90
10	実技:フィットネストレーニング④	エアロビクトレーニング(ウォーキング)	有酸素運動として代表的なウォーキングの方法を知る	90
11	実技:フィットネストレーニング⑤	エアロビクトレーニング(ジョギング)	有酸素運動として代表的なジョギングの方法を知る	90
12	実技:フィットネストレーニング⑥	サーキットトレーニング	全身持久力強化のためのサーキットトレーニング法を知る	90
13	実技:体力テスト	柔軟性・平衡感覚及び脚筋力テスト	実際の自分の体力の現状を知る	90
14	実技:体力テスト	持久力テスト(シャトルラン)	実際の自分の体力の現状を知る	90
15	講義:まとめ	成果確認	ディスカッションを通して授業内容の理解度を確認する	90
【テキスト】		特になし		
【参考書・参考資料等】		必要に応じてその都度提示する		
【成績評価基準・方法】		講義の際に課した課題の提出状況およびその内容(30%)、実技授業参加の積極性(10%)、実技及び講義の成果確認の結果(60%)により総合的に評価する		

教科番号	0552	授業科目： 体育実技Ⅱ (Physical Education Practice Ⅱ)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 1単位 担当者：		木路 修平
【授業の到達目標】				
講義によって生涯生活におけるQOLの向上に対する運動・スポーツの役割を理解する。また体力テストの実施を通して、身体測定の方法を理解し、自身の体力レベルの現状を把握することを到達目標とする				
【授業の概要】				
超高齢化社会に向け、生活習慣病予防など健康な生活におけるスポーツの重要性を理解し、実際に身体を動かすことを通して心身の発達および学生の協調性を養う。生活にその質の向上(クオリティ オブ ライフ:QOL)が求められる現代において、生活に「健康・楽しみ・交流」をもたらす手段としての一生を通じ、継続できるスポーツ種目を見つけることとする。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	学習目的の説明	体育実技授業の目的と実施方法を理解する	90
2	講義:ルール	バスケットボールの歴史とルール	バスケットボールの歴史と実技におけるルールを理解する	90
3	実技:球技①	バスケットボール(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
4	実技:球技②	バスケットボール(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
5	実技:球技③	バスケットボール(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
6	実技:球技④	バスケットボール(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
7	講義:ルール	バドミントンの歴史とルール	バドミントンの歴史と実技におけるルールを理解する	90
8	実技:球技⑤	バドミントン(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
9	実技:球技⑥	バドミントン(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
10	実技:球技⑦	バドミントン(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
11	実技:球技⑧	バドミントン(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
12	講義:ルール	ドッジボールの歴史とルール	ドッジボールの歴史と実技におけるルールを理解する	90
13	実技:球技⑩	ドッジボール(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
14	実技:球技⑪	ドッジボール(ゲーム)	ルールに則りゲームの中で基本的な技術、戦術を修得する	90
15	講義:まとめ	成果確認	ディスカッションを通して授業内容の理解度を確認する	90
【テキスト】		特になし		
【参考書・参考資料等】		必要に応じてその都度提示する		
【成績評価基準・方法】		講義の際に課した課題の提出状況およびその内容(30%)、実技授業参加の積極性(10%)、実技及び講義の成果確認の結果(60%)により総合的に評価する		

教科番号	0252	授業科目: 現代社会の諸相 (Various Aspects in Modern Society)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者:	鈴木 康治
【授業の到達目標】 社会学の基本的な概念や主要なトピックなどについて広く学ぶことを通じて、学問としての基本的な考え方やその現代的意義を理解し、今日の様々な社会問題を社会的な視点から考察できるようになることが本講義の到達目標です。				
【授業の概要】 人間関係が急速に多様化し、人びとの伝統的な身分や経済的境遇が流動化の度合いを増していく時代の中で社会学という学問は誕生しました。そうした社会の歴史的変化の趨勢を「近代化」と呼ぶとすれば、社会学とは「近代化」に由来する人間関係の諸問題を考察するために必要とされた学問であったともいえます。現代の人間関係は、情報社会化やグローバル化という新たな歴史的な展開を反映して、さらに複雑さを増しているようにも見えます。社会学を学ぶことのひとつの意義は、一見複雑な現代の人間関係を明確に理解するための有益な手がかりが方法論や理論的知見というかたちで得られるということです。 本講義では、社会学がこれまでに作り出してきた基本的な概念や理論を学びつつ、社会的な視点からの「社会の見方」を紹介していきます。社会学の視点を生かすことで、日々の身近な生活をこれまでとは違う角度から見つめ直すことが可能となります。本講義を通じて、人びとの多様な社会的関係性をその背後にある「社会的地位」・「社会構造」・「文化的規範」等に照らして分析することの重要性や面白さを認識してもらえれば幸いです。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	イントロダクション	講義の概要	シラバスの内容を確認する。 授業内容を復習する。	30 60
2	現代社会の理解Ⅰ	社会システム	テキスト(pp.14-31)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
3	現代社会の理解Ⅱ	法と社会システム	テキスト(pp.32-44)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
4	現代社会の理解Ⅲ	経済と社会システム	テキスト(pp.45-57)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
5	現代社会の理解Ⅳ	社会変動	テキスト(pp.58-71)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
6	現代社会の理解Ⅴ	人口と社会変動	テキスト(pp.72-90)を読みまとめる。授業内容を復習する。	120 60
7	1回～6回のまとめ	ディスカッションおよび小レポートの作成を通じてこれまでの授業内容の理解を深める。	小レポートのテーマを考える。 ディスカッションの内容をまとめる。	30 60
8	生活の理解Ⅰ	生活のとらえ方	テキスト(pp.92-104)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
9	生活の理解Ⅱ	家族	テキスト(pp.105-119)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
10	生活の理解Ⅲ	地域	テキスト(pp.120-135)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
11	人と社会の関係Ⅰ	社会的行為	テキスト(pp.138-150)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
12	人と社会の関係Ⅱ	社会的役割	テキスト(pp.151-163)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
13	人と社会の関係Ⅲ	社会集団と組織	テキスト(pp.164-175)を読みまとめる。授業内容を復習する。	30 60
14	現代社会の課題	現代社会の諸問題をディスカッションおよび小レポートの作成を通じて考察する。	現代社会の特徴をノートにまとめる。ディスカッションの内容をまとめる。	120 60
15	まとめ	総括と展望	期末試験の準備 ノートの整理とまとめ	60 120
【テキスト】		『社会理論と社会システム 第3版』社会福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版		
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜紹介します。		
【成績評価基準・方法】		授業への参加状況を小レポートの内容(35%)から評価し、講義内容の理解およびその応用力を筆記試験(65%)によって評価します。		

教科番号	0915	授業科目:	技術と経営	()
開講時期	前期	()学科 (2)年 (2)単位	担当者:	中川 充
【授業の到達目標】				
授業の到達目標は、以下の2つである。 1. 技術と創造性や生産性のマネジメントに関する基本的な知識を習得すること。 2. 学習した知識をもとに、現実の事象について受講生が自身のことばで説明できるようになること。				
【授業の概要】				
この授業では、管理者(マネージャー)の視点から、技術と創造性や生産性のマネジメントについて、学習する。実際の企業				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	イントロダクション	授業内容や成績評価方法などの説明	・課題についての検討、整理	
2	マネジメントとは何か	マネジメントの重要性とその効果性	・課題についての検討、整理 ・授業内容の復習	60 60
3	マネジメントの実践	グループ・ワーク/ディスカッション	・前回のノート熟読 ・授業内容の復習	60 60
4	技術のマネジメント	技術のマネジメントについて	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	60 60
5	技術と生産性のマネジメント	技術と生産性のマネジメントについて	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	30 90
6	技術と創造性のマネジメント	技術と創造性のマネジメントについて	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	60 90
7	組織のマネジメント	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	30 90
8	技術(者)とモチベーション	技術(者)とモチベーションについて	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	60 90
9	技術(者)と評価報酬制度	技術(者)と評価報酬制度について	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	30 90
10	技術(者)のマネジメント	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	60 90
11	組織と生産性のマネジメント	組織と生産性のマネジメントについて	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	30 90
12	組織と創造性のマネジメント	組織と創造性のマネジメントについて	・テキストとノート熟読 ・授業内容の復習	60 90
13	グループ発表の準備	グループに分かれ、発表の準備を行う	・グループワーク課題の確認 ・発表準備	60 30
14	グループ発表と討議	グループ発表と、それに基づく議論を行う	・グループ発表の準備	60 0
15	総括	これまでの授業を総括する	・これまでの授業内容の確認 ・全体の復習	90 120
【テキスト】		初回の講義時に紹介、説明する。		
【参考書・参考資料等】				
【成績評価基準・方法】		期末試験(60%)とグループ発表を含む平常点(40%)を総合的に評価する。		

教科番号	0254	授業科目:	法学(Law)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科	2年 2単位	担当者: 鈴木 康治
【授業の到達目標】 日常生活において経験する様々な出来事の中に法学的問題を見出し、法学的思考を用いて考察できるようになることが本講義としての到達目標です。				
【授業の概要】 法学に関する基礎概念について解説します。また現代日本法の制度や手続きを体系的に理解するために必要となる基礎的な学習項目についても紹介していきます。「法の効力」の各回では、法の規範力とは何かについて広く検討します。「法と公権力」の各回では、公法の各領域について見ていきます。「法と市民生活」の各回では、私法の各領域について見ていきます。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	イントロダクション	講義の概要	シラバスの内容を確認する。 授業内容を復習する。	30 60
2	法の効力Ⅰ	法の概念	テキスト(pp.2-7)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
3	法の効力Ⅱ	成文法と不文法	テキスト(pp.8-15, 18-21)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
4	法の効力Ⅲ	法の解釈	テキスト(pp.22-33)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
5	法の効力Ⅳ	訴訟と裁判	テキスト(pp.154-171)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
6	1回～5回のまとめ	ディスカッションおよび小レポートの作成を通じてこれまでの授業内容の理解を深める。	小レポートのテーマを考える。 ディスカッションの内容をまとめる。	120 60
7	法と公権力Ⅰ	憲法とは何か	テキスト(pp.34-37, 46-55)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
8	法と公権力Ⅱ	基本的人権	テキスト(pp.38-45)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
9	法と公権力Ⅲ	刑法	テキスト(pp.56-69)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
10	法と公権力Ⅳ	行政法	テキスト(pp.70-83)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
11	7回～10回のまとめ	憲法と近代社会とのつながりをディスカッションおよび小レポートの作成を通じて考察する。	小レポートのテーマを考える。 ディスカッションの内容をまとめる。	120 60
12	法と市民生活Ⅰ	民法の原則	テキスト(pp.84-89)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
13	法と市民生活Ⅱ	法と所有	テキスト(pp.92-103, 106-111)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
14	法と市民生活Ⅲ	法と家族	テキスト(pp.112-119)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	30 60
15	まとめ	総括と展望	期末試験の準備 ノートの整理とまとめ	60 120
【テキスト】		『これから勉強する人のための 日本一やさしい法律の教科書』品川 皓亮 日本実業出版社		
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜紹介します。		
【成績評価基準・方法】		授業への参加状況を小レポートの内容(35%)から評価し、講義内容の理解およびその応用力を筆記試験(65%)によって評価します。		

教科番号	0916	授業科目： 環境学(Environmental Study)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	1年 2単位	担当者： 村橋 毅
【授業の到達目標】 人の健康維持と生活環境の保全に貢献できるようになるために、環境に関する基本的な知識を修得する。				
【授業の概要】 近年、人間は生活の豊かさと利便性を追及した結果、生産活動の拡大、急速な人口増加、地球規模の環境破壊が問題となり、今や人類の生存の基盤をも脅かすまでになっている。この講義では、地球環境および生態系の変化を解説する。すなわち、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、森林破壊、砂漠化等の原因および現状、生態系・人体への影響等について解説する。また、これらの地球規模の環境問題に対する国際的協調の現状、エネルギー問題やライフスタイルの変化を含めた対応策を講義する。これらの講義を通して、地球環境の重要性および地球環境保護活動の必要性を認識する。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間 (分)
1	地球環境と生態系	地球の環境と生態系	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
2	地球環境と生態系	オゾン層の破壊	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
3	地球環境と生態系	地球温暖化	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
4	地球環境と生態系	酸性雨と海洋汚染	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
5	地球環境と生態系	森林の破壊と砂漠化	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
6	地球環境と生態系	生物多様性の減少と有害廃棄物の越境移動	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
7	大気環境	主な大気汚染物質の発生源および影響	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
8	大気環境	室内空気汚染	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
9	水環境	水質汚濁と富栄養化	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
10	水環境	上水道と下水道	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
11	有害化学物質	重金属汚染により発生した公害の事例	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
12	有害化学物質	環境ホルモン	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
13	有害化学物質	ダイオキシン類	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
14	アクティブラーニング	環境問題についての討論	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
15	アクティブラーニング	環境問題についての討論	インターネット等で調べてまとめる 自分の意見をまとめる	45分 45分
【テキスト】		「環境学」		
【参考書・参考資料等】		なし		
【成績評価基準・方法】		試験 40%、予習・復習課題 48%、討論発表課題 12%		

教科番号	0507	授業科目：数学入門Ⅰ		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	1年 2単位	担当者：原 吉伸
【授業の到達目標】 本講義は、大学新入生が専門課程へ進級するに従い必要になってくる数学的思考・知識を習得することが目的である。よって、高度な数学的知識の習得ではなく、基礎的な知識の習得を目指したものである。 また、Excelの基礎を学ぶ				
【授業の概要】 講義はこまめに「小テスト」や「演習問題」を行い、例題をできる限り多く解く形で進めていく。 また、授業の節目で行う、「演習問題」や「中間テスト」「総括テスト」では、翌週に解説を行い、よく間違える箇所や問題が意味することなどを双方向のディスカッションを通じて理解を深める				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	前期授業のオリエンテーション	前期の授業内容を確認する 「小テスト」を行う	シラバスを確認する。授業の内容を復習する	30 60
2	数と式の計算	「小テスト」を解説後、「展開公式」や「因数分解」「平方根」「複素数」を学ぶ	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
3	方程式	「数と式の計算」を復習後、「連立一次方程式」「代数方程式」を学ぶ	「連立一次方程式」と「代数方程式」を予習・復習する	60 60
4	関数とグラフ(Ⅰ)	「方程式」の復習後、「直線」「放物線」のグラフの書き方を学ぶ。小テスト実施	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
5	関数とグラフ(Ⅱ)	前回の復習後、「円」や「楕円と双曲線」及び「不等式」を学ぶ。小テスト実施	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
6	三角関数(Ⅰ)	前回の復習後、「ラジアン単位」や「一般角」及び「三角関数」を学ぶ	「ラジアン単位」と「一般角」「三角関数」を予習・復習する	60 60
7	三角関数(Ⅱ)	前回の復習後、「三角関数のグラフ」の書き方を学ぶ	「三角関数のグラフ」を予習・復習する	60 60
8	まとめと振り返り(Ⅰ)	第1回～7回までの範囲で、「中間テスト(Ⅰ)」を行う	中間テストの実施で理解を深める	120 30
9	指数関数(Ⅰ)	「中間テスト(Ⅰ)」の解説後、「指数と指数法則」について学ぶ	中間テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
10	指数関数(Ⅱ)	前回の復習後、「関数とグラフ」について学ぶ	「関数とグラフ」を予習・復習する	60 60
11	対数関数(Ⅰ)	前回の復習後、「対数と対数法則」「常用対数と自然対数」を学ぶ	「対数と対数法則」を予習・復習する	60 60
12	対数関数(Ⅱ)	前回の復習後、「対数関数とグラフ」について学ぶ	「対数関数のグラフ」を予習・復習する	60 30
13	関数の極限	前回の復習後、「収束と発散」を学ぶ	「収束と発散」を予習・復習する	60 60
14	まとめと振り返り(Ⅱ)	「指数関数」「対数関数」及び「関数の極限」について、「演習問題」を行う	演習問題の実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
15	まとめと振り返り(Ⅲ)	前期まとめと総括、「演習問題」を行う。テスト後、解説・ディスカッションを行う	演習問題の実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
【テキスト】		大学新入生のための数学入門 石村園子著 共立出版		
【参考書・参考資料等】		適宜、プリントを配布する		
【成績評価基準・方法】		中間テスト(30%)、小テスト・演習問題(30%)、期末テスト(30%)、講義への参加意欲・態度(10%)など総合的に評価する		

教科番号	0508	授業科目: 数学入門Ⅱ (Foundational Mathematics)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	1年 2単位	担当者: 原 吉伸
【授業の到達目標】 本講義は、大学新入生が専門課程へ進級するに従い必要になってくる数学的思考・知識を習得することが目的である。よって、高度な数学的知識の習得ではなく、基礎的な知識の習得を目指したものである。 また、Excelの基礎を学ぶ				
【授業の概要】 講義はこまめに「小テスト」や「演習問題」を行い、例題をできる限り多く解く形で進めていく。 また、授業の節目で行う、「演習問題」や「中間テスト」「総括テスト」では、翌週に解説を行い、よく間違える箇所や問題が意味することなどを双方向のディスカッションを通じて理解を深める				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	後期授業のオリエンテーション	後期の授業内容を確認する 「小テスト」を行う	授業の内容を復習する	30 60
2	微分(Ⅰ)	「小テスト」解説後、「微分係数」と「導関数」を学ぶ	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
3	微分(Ⅱ)	前回の復習後、「微分計算」と「関数の増減とグラフ」を学ぶ	「微分計算」を予習・復習する	60 60
4	積分(Ⅰ)	前回の復習後、「不定積分」と「定積分」を学ぶ。「小テスト」実施	「積分計算」を予習・復習する	60 60
5	積分(Ⅱ)	小テストの解説後、「面積」について学ぶ	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
6	パラメータ曲線と極方程式(Ⅰ)	前回の復習後、「曲線のパラメータ表示」を学ぶ。「小テスト」実施	「曲線のパラメータ表示」を予習・復習する	60 60
7	パラメータ曲線と極方程式(Ⅱ)	小テストの解説後、「極座標と極方程式」を学ぶ。	小テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
8	まとめと振り返り(Ⅳ)	微分と積分を主な範囲として、「中間テスト(Ⅱ)」を行う	中間テストの実施で理解を深める	120 30
9	複素平面と極形式(Ⅰ)	「中間テスト(Ⅱ)」の解説後、「複素平面」について学ぶ	中間テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60
10	複素平面と極形式(Ⅱ)	前回の復習後、「極形式」について学ぶ	「極形式」を予習・復習する	60 60
11	ベクトルと空間図形(Ⅰ)	前回の復習後、「ベクトル」と「平面ベクトル」について学ぶ	「ベクトル」を予習・復習する	120 60
12	ベクトルと空間図形(Ⅱ)	前回の復習後、「空間ベクトル」と「空間図形」を学ぶ	「空間ベクトル」を予習・復習する	60 30
13	集合、順列、組み合わせ	前回の復習後、「集合」「集合演算」「順列と組み合わせ」「確率」を学ぶ	「集合」「順列と組み合わせ」を予習・復習する	60 60
14	まとめと振り返り(Ⅴ)	まとめと総括、「演習問題」を行う。テスト後、解説・ディスカッションを行う	演習問題の実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
15	まとめと振り返り(Ⅵ)	まとめと総括、「総括テスト」を行う。テスト後、解説・ディスカッションを行う	総括テストの実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60
【テキスト】		大学新入生のための数学入門 石村園子著 共立出版		
【参考書・参考資料等】		適宜、プリントを配布する		
【成績評価基準・方法】		中間テスト(30%)、小テスト・演習問題(30%)、期末テスト(30%)、講義への参加意欲・態度(10%)など総合的に評価する		

教科番号	0381	授業科目：基礎物理Ⅰ (Elementary PhysicsⅠ)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	(1)年 (2)単位	担当者：河合 達雄
【授業の到達目標】				
・ 力学・振動・波動の基礎を習得し、簡単な計算ができるようになる。 ・ 物理分野の現象をイメージできるようになる。				
【授業の概要】				
身近な例や多くの図によって、イメージ的に理解することを優先する。運動の法則から振動および波動まで、物理現象を直感的に説明する。専門外の技術課題に対して、ある程度理解ができ、将来、他分野の技術者と協働できるようになるための、教養としての物理学を学ぶ。さらに、宿題やアクティブ・ラーニングも取り入れて、理解を深める。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	物理量の扱い方	単位、指数表示、有効数字、次元	シラバスを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
2	力学の基本(1)	速さ、物体の位置と速度、物体の速度と変位	テキストのpp.1-19を読む。 授業内容を復習する。	30 60
3	力学の基本(2)	物体の加速度、等加速度直線運動、平面運動の速度と加速度	テキストのpp.19-33を読む。 授業内容を復習する。	30 60
4	力と運動(1)	ニュートンの運動の法則、運動量と力積	テキストのpp.34-39を読む。 授業内容を復習する。	30 60
5	力と運動(2)	直線運動での運動の法則、地球の重力、力の合成と分解	テキストのpp.39-45を読む。 授業内容を復習する。	30 60
6	力と運動(3)	運動方程式の解法、摩擦力、剛体に作用する力のつりあい	テキストのpp.46-57を読む。 授業内容を復習する。	60 60
7	仕事とエネルギー(1)	力と仕事、仕事率、位置エネルギー、運動エネルギー	テキストのpp.58-64を読む。 授業内容を復習する。	30 60
8	仕事とエネルギー(2)	エネルギーの変換、エネルギーの保存	テキストのpp.64-71を読む。 授業内容を復習する。	30 60
9	周期運動(1)	等速円運動、人工衛星	テキストのpp.72-77を読む。 授業内容を復習する。	30 60
10	周期運動(2)	等速円運動する物体の速度と加速度、単振動	テキストのpp.77-87を読む。 授業内容を復習する。	30 60
11	周期運動(3)	単振り子、減衰振動と強制振動	テキストのpp.87-93を読む。 授業内容を復習する。	30 60
12	連続体の力学	圧力、弾性体の力学、流体の力学	テキストpp.94-113を読む。 授業内容を復習する。	60 60
13	波動(1)	波の性質、波の伝播速度、重ねあわせの原理と干渉	テキストpp.114-123を読む。 授業内容を復習する。	30 60
14	波動(2)	波の反射、屈折、回折、定在波、音波、光波	テキストpp.123-135を読む。 授業内容を復習する。	30 60
15	総合演習	学習内容の中のトピックスについてのディスカッション	授業のまとめを行う。 ディスカッションをまとめる。	180 60
16	期末試験	講義内容について試験する。	試験範囲を復習する。	180 0
【テキスト】		物理学入門(第3版) 原康夫 学術図書出版社		
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜配布する。		
【成績評価基準・方法】		宿題の達成状況(20%)、中間試験(40%)および定期試験(40%)により総合評価する。		

教科番号	0382	授業科目：基礎物理Ⅱ (Elementary Physics II)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	(1)年 (2)単位	担当者：河合 達雄
【授業の到達目標】 ・ 熱力学・電磁気学・現代物理学の基礎を習得し、簡単な計算ができるようになる。 ・ 物理分野の現象をイメージできるようになる。				
【授業の概要】 身近な例や多くの図によって、イメージ的に理解することを優先する。熱力学から現代物理学までを直感的に説明する。専門外の技術課題に対して、ある程度理解ができ、将来、他分野の技術者と協働できるようになるための、教養としての物理学を学ぶ。さらに、宿題やアクティブ・ラーニングも取り入れて、理解を深める。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	熱力学(1)	熱、温度、熱の移動、理想気体の状態方程式	テキストpp.136-147を読む。 授業内容を復習する。	30 60
2	熱力学(2)	熱力学の第1法則、熱力学の第2法則、熱機関	テキストpp.147-157を読む。 授業内容を復習する。	30 60
3	電荷と電流(1)	電荷、電流、導体と絶縁体、クーロンの法則	テキストpp.158-165を読む。 授業内容を復習する。	30 60
4	電荷と電流(2)	電場、電位、回路と起電力、オームの法則	テキストpp.165-179を読む。 授業内容を復習する。	30 60
5	電荷と電流(3)	キルヒホッフの法則、電源の仕事率と電流の仕事率	テキストpp.179-189を読む。 授業内容を復習する。	30 60
6	電磁気学(1)	磁石と磁場、電流の作る磁場	テキストpp.190-197を読む。 授業内容を復習する。	30 60
7	電磁気学(2)	運動する荷電粒子に働く磁気力、電磁誘導	テキストpp.197-204を読む。 授業内容を復習する。	60 60
8	光と電磁波(1)	光の速さ、光の回折、偏光	テキストpp.205-211を読む。 授業内容を復習する。	30 60
9	光と電磁波(2)	電磁波、電磁波の反射と屈折、光の放射圧	テキストpp.212-219を読む。 授業内容を復習する。	30 60
10	原子物理学(1)	原子の構造、光の二重性、電子の二重性	テキストpp.220-227を読む。 授業内容を復習する。	30 60
11	原子物理学(2)	原子の定常状態と光の線スペクトル、元素の周期律、半導体	テキストpp.227-233を読む。 授業内容を復習する。	30 60
12	原子物理学(3)	半導体の応用、レーザー	テキストpp.233-239を読む。 授業内容を復習する。	30 60
13	原子核	原子核の構造、核エネルギー、原子核の崩壊と放射能、素粒子	テキストpp.240-251を読む。 授業内容を復習する。	30 60
14	総合演習	学習内容の中のトピックスについてのディスカッション	学習内容を復習。 ディスカッションをまとめる。	180 60
15	まとめ	学んだことについてのまとめを行う	期末試験のためのまとめ。 期末試験の準備をする。	180 60
16	定期試験	講義内容について試験する。	期末試験範囲を復習する。	180 0
【テキスト】		物理学入門(第3版) 原康夫 学術図書出版社		
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜配布する。		
【成績評価基準・方法】		宿題の達成状況(20%)および定期試験(80%)により総合評価する。		

教科番号	0362	授業科目: 化学入門(Introduction to Chemistry)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者: 小野 勇	
【授業の到達目標】 工業材料や物質の基礎となる化学的な知識を系統的に身につけて、それを活用できることをめざす。 そのために、次の4点を到達目標とする。 (1) 化学式や化学用語を適切に使用することができる。 (2) 原子の構造と性質の周期性が系統的に理解できる。 (3) 物質の状態を理解し、物性との関係を発展的に理解できる。 (4) 化学反応の種類を理解し、反応式を使って適切に記述することができる。				
【授業の概要】 化学は、学んだ知識を系統的に結びつける発展性が何より重要である。この系統性を重視して授業を進めるが、これを身につけるためには十分な予復習が欠かせない。 毎回の授業では、授業内容の再確認のための小テスト、あるいは、学生の能動的な考察力を養うための発展課題を出す。発展課題はグループで討論を行った上でミニレポートとして提出すること。これはアクティブラーニングの一環として行う。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	原子の構造(1) 原子モデル、原子核反応	原子を構成する粒子。原子核反応の種類と特徴を知る。	テキストp.18までをまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
2	原子の構造(2) 電子配置	電子配置とは何か。電子配置の表し方のルール。	テキストp.25までをまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
3	原子の構造(3) 電子配置	電子配置の周期性と、性質との関係を考察する。	テキストp.36までをまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
4	化学結合(1) イオン結合	イオンの生成とイオン結合を学ぶ。	テキストp.51-53をまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
5	化学結合(2) 金属結合	金属結合の特徴と金属の性質を学ぶ。	テキストp.54-55をまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
6	化学結合(3) 共有結合	共有結合の成り立ちと種類を学ぶ。	テキストp.56-67をまとめる。	60
			授業内容を復習する。	60
7	いままでの授業内容のまとめ	分子物性に関する発展課題について討論し理解を深める。	いままでの内容の復習。	60
			ミニレポートの作成。	60
8	物質の状態(1) 固体、液体、気体、液晶	物質の状態の種類、特徴、応用を学ぶ。	テキストp.68-80をまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
9	物質の状態(2) 状態図	状態図の見方を学び、考察する。	テキストp.81-83をまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
10	化学反応(1) 化学反応式の書き方	化学反応式の書き方を学ぶ。	テキストp.110-116をまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
11	化学反応(2) 酸塩基反応	酸塩基の定義と反応について学ぶ。	テキストp.97-101をまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
12	化学反応(3) 酸化還元反応	酸化還元の定義と反応について学ぶ。	テキストp.102-109をまとめる。	30
			授業内容を復習する。	60
13	総合問題(1)	化学反応に関する発展課題について討論し理解を深める。	配布プリントに目を通す。	30
			ミニレポートの作成。	60
14	総合問題(2)	物質の性質に関する発展課題について討論し理解を深める。	配布プリントに目を通す。	30
			ミニレポートの作成。	60
15	まとめ	まとめと総括	いままでの授業内容を整理。	60
			授業内容を復習する。	30
【テキスト】		決定版! やさしい一般化学 齋藤勝裕著 講談社サイエンティフィク		
【参考書・参考資料等】				
【成績評価基準・方法】		定期試験(45%)、小テスト・ミニレポート(45%)、授業への取り組み(10%)		

教科番号	0363	授業科目： 高分子化学 (Polymer Chemistry)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者：	小野 勇
【授業の到達目標】 工業材料や天然材料における高分子の知識をもち、その性質と化学構造との関係が理解できるようになることをめざす。そのために次の3点を到達目標とする。 (1) 基本となる有機化学を理解し、化学式を正確に書くことができる。 (2) 高分子の性質を構造と関連づけて説明できる。 (3) 主な合成高分子と天然高分子の種類と利用について説明できる。				
【授業の概要】 身の回りの「形あるもの」の多くは高分子であり、われわれの生活は高分子に支えられていると言っても過言ではない。高分子がもつ性質を化学的な視点で理解し、どのように利用されているかを系統的に学ぶ。 毎回の授業では、授業内容の再確認のための小テスト、あるいは、学生の能動的な考察力を養うための発展課題を出す。発展課題はグループで討論を行った上でミニレポートとして提出すること。これはアクティブラーニングの一環として行う。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	高分子を学ぶ意義	高分子と、その基礎となる有機化学が生活に役立てられていることを学ぶ。	シラバスを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
2	有機化学の基礎(1)	原子の構造と共有結合について学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
3	有機化学の基礎(2)	多重結合とそれから出現する性質を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
4	有機化学の基礎(3)	組成式、構造式などの書き方を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
5	有機化学の基礎(4)	官能基の種類と性質について学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
6	有機化学の基礎(5)	異性体の種類と生体に及ぼす影響について学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
7	これまでのまとめ	有機化学に関する発展課題について討論し理解を深める。	配布プリントに目を通す。 ミニレポートの作成。	30 60
8	高分子化学の基礎	高分子の成り立ちと、構造式の書き方について学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
9	高分子の構造と性質(1)	高分子の導電性、力学的強度と構造との関係を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
10	高分子の構造と性質(2)	高分子の吸水性、透過性と構造との関係を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
11	高分子の構造と性質(3)	高分子の耐熱性と構造との関係を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
12	高分子の構造と性質(4)	繊維の種類と化学的な特徴を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
13	高分子の構造と性質(5)	接着剤など高分子が利用されている様々な事例を学ぶ。	配布プリントを確認する。 授業内容を復習する。	30 60
14	総合問題	高分子に関する発展課題について討論し理解を深める。	配布プリントに目を通す。 ミニレポートの作成。	30 60
15	まとめ	まとめと総括	いままでの授業内容を整理。 授業内容を復習する。	30 60
【テキスト】		プリント配付		
【参考書・参考資料等】		わかる×わかった！ 高分子化学 齋藤勝裕・坂本英文共著 オーム社		
【成績評価基準・方法】		定期試験(45%)、小テスト・ミニレポート(45%)、授業への取り組み(10%)		

教科番号	0251	授業科目: 産業と人間(Human Factors for Industry)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	(1)年 2単位	担当者: 渡辺 哲
【授業の到達目標】 本講義では、「産業と人間」との関係をより具体的内容として、企業・大学における科学者(研究者・技術者)のあり方といった視点から考察する。企業において、研究者・技術者がどのような位置にあり、どのような役割を果たしているか。また、いくつかの研究者の道を紹介し、社会や企業が、研究者に対して何を要求しているかを考察することにより、その道へ進む人にとっての導きとなることを目指す。				
【授業の概要】 科学史、知的財産権、プレゼンテーションスキル、学術論文の出し方、研究者の倫理、新商品開発や研究の例、今後の勉強方法、等について学ぶ。 事前に資料を配布し学習した上で、学生のコミュニケーションスキルを向上させる対話形式の授業を目指す。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	科学者とは、	科学者の定義、研究者の人数、海外比較、所属研究機関、技術の始まり、ノーベル賞とは、	講義資料の内容を復習する	60
2	科学史	科学史概要を科学・技術・歴史との関係で捉える	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
3	社会・産業の今後	経済(マクロ経済・国際経済)社会(人口問題環境問題)から今後の技術開発動向を探る	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
4	企業における研究者・技術者とは、	大学の研究と企業の研究の違い・研究開発がビジネスになるまで・企業内研究者のライフサイクル・研究開発活動・研究開発マネージャー・21世紀に求められる研究者像・企業が望む大学教育とは	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
5	技術経営	・企業における技術経営の基本、・特に、イノベーションについて	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
6	知的財産権全般	知的財産権とは、	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
7	特許と実用新案①	意義、要件、出願の流れ、具体的な例	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
8	特許と実用新案②	意義、要件、出願の流れ、具体的な例、IPマップ	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
9	意匠・商標	意義、要件、出願の流れ、具体的な例の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
10	著作権	意義、要件、出願の流れ、具体的な例の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
11	企業の求める人材とは	企業における人材に要求される能力について紹介する。特に、採用試験において、どのような視点で評価されるかを具体的に解説する。	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
12	プレゼンテーションとは	基本、要件、形式、具体的な技法の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
13	学術論文、研究者の倫理	論文の意義、発表方法、査読、近年の倫理問題	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
14	事例:新商品開発物語	磁気記録&光記録システムの開発と具体的商品化例の紹介	講義資料を読み予習する 講義の内容を復習する	30 60
15	まとめ	講義のまとめ	全講義資料・課題の内容を予習・復習する	120 120
【テキスト】		独自プリント		
【参考書・参考資料等】		・社会科学(時事通信社)・科学者ってなんだ?(コロナ社)・知的財産検定2級テキスト(日経BP社)・知的財産検定2級テキスト(知的財産協会)・「ソニー・会社を変える採用と人事」中田研一郎(角川書店)・理系のための口頭発表術(ブルーバックス)・情報活用力(noa)・竹中式マトリックス勉強法(幻冬舎)、ほか多数		
【成績評価基準・方法】		定期試験(80%)、質疑応答(20%)、視聴態度、必要に応じてレポート提出。講義は、質問形式の問いがあり、また、講師と学生間において対話形式の授業形態も採用する。		

教科番号	0256	授業科目: 企業倫理 (Corporate Ethics)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 3年 2単位	担当者:	村岡 哲也
【授業の到達目標】 企業倫理は、将来技術者として専門的な仕事に携わったとき遭遇するであろう倫理的ジレンマにどのように対処していったらよいかを学ぶ。技術者として就職したとき、誰もが直面する問題なので理解を深めるように努力していただきたい。				
【授業の概要】 過去に発生した事例を活用して、倫理的ジレンマの仮想体験をしながら企業倫理を身につける。特に、グループ討論を通して多様な考え方や価値観を認め合いながら、その中から最適解を導く。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	企業倫理とは	倫理とコンプライアンス, 倫理の規範性と普遍性	テキストの P.5～P.12 をまとめ, P.13～P.20 を読んでおく。	30 60
2	大震災を考える	テレビ局記者への対応, 放射能汚染に関わる相談ボランティア	テキストの P.13～P.20 をまとめ, P.21～P.23 を読んでおく。	30 60
3		防災無線の呼びかけ	テキストの P.21～P.23 をまとめ, P.24～P.27 を読んでおく。	30 60
4		新幹線と地震対策	テキストの P.24～P.27 をまとめ, P.28～P.31 を読んでおく。	30 60
5		福島第一原子力発電所の事故と電気技術	テキストの P.28～P.31 をまとめ, P.32～P.44 を読んでおく。	30 60
6		原子力発電所の事故を振り返って	テキストの P.32～P.44 をまとめる。	30 60
7	1回～6回のまとめ	授業で提起された問題点について, グループごとに分かれて討論し, 結果を発表する。	発表内容を評価し, 評価結果をまとめる。	120 60
8	研究を考える	研究者のモラル	テキストの P.45～P.47 をまとめ, P.48～P.49 を読んでおく。	30 60
9		新製品の開発競争	テキストの P.48～P.49 をまとめ, P.50～P.52 を読んでおく。	30 60
10		論文問題と利益相反	テキストの P.50～P.52 をまとめ, P.61～P.80 を読んでおく。	30 60
11		島秀雄と技術者倫理	テキストの P.61～P.80 をまとめ, P.81～P.89 を読んでおく。	30 60
12	見方を広げる	訓練と非常事態時の行動	テキストの P.81～P.89 をまとめ, P.90～P.91 を読んでおく。	30 60
13		技術の流出	テキストの P.90～P.91 をまとめる。	30 60
14	企業倫理と技術者倫理の関係	スペースシャトル打ち上げ失敗事故を題材として, 企業と技術者の倫理感について考える。	グループごとに討論し, 結果を発表する。発表後全員で評価する。	120 60
15	まとめ	企業で技術者が持つべき倫理観について総まとめをする。	ノート整理をする。	60 120
【テキスト】		電気学会倫理委員会: 事例で学ぶ技術者倫理(技術者倫理事例集第2集), 電気学会倫理委員会		
【参考書・参考資料等】		室蘭工業大学: 技術者倫理事例集		
【成績評価基準・方法】		試験, グループ討論の参加と発表, 出席などを総合評価する。		

教科番号	0499	授業科目：英語入門 Ⅰ	()	
開講時期	前期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者：茂木健幸	
【授業の到達目標】 英語入門では、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングについての基礎的な英語運用能力を定着することを目標としています。				
【授業の概要】 教科書に沿って授業を行います。授業の中では、教科書にある問題の読解・解説、パートナーとの英会話やグループワークなど授業に積極的に参加することが求められます。また、ユニット毎にまとめのレポートを作成・提出することになります。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	授業内容、評価の仕方についての説明	シラバスを読むこと	30
2	Unit 1	Introductions	予習として教科書p.4～9を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
3	Unit 1	Introductions	教科書p.4～9を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
4	Unit 2	What a life!	教科書p.10～15を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
5	Unit 2	What a life!	教科書p.10～15を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
6	Unit 3	Free time	教科書p.16～21を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
7	Unit 3	Free time	教科書p.16～21を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
8	Review 1	Unit 1～3までのまとめ	教科書p.22～23を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
9	Unit 4	Places	教科書p.24～29を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
10	Unit 4	Places	教科書p.24～29を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
11	Unit 5	Getting around	教科書p.30～35を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
12	Unit 5	Getting around	教科書p.30～35を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
13	Unit 6	Shopping	教科書p.36～41を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
14	Unit 6	Shopping	教科書p.36～41を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
15	Review 2	Unit 4～6までのまとめ	教科書p.42～41を読むこと、また行った問題の復習をすること。	30
				30
【テキスト】		Breakthrough Plus 1		
【参考書・参考資料等】				
【成績評価基準・方法】				
授業態度(30%)、レポート(30%)、期末試験(40%)				

教科番号	0500	授業科目：英語入門Ⅱ	()	
開講時期	後期	情報電子システム工学科	1年 2単位	担当者：茂木健幸
【授業の到達目標】				
英語入門では、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングについての基礎的な英語運用能力を定着することを目標としています。				
【授業の概要】				
教科書に沿って授業を行います。授業の中では、教科書にある問題の読解・解説、パートナーとの英会話やグループワークなど授業に積極的に参加することが求められます。また、ユニット毎にまとめのレポートを作成・提出することになります。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	ガイダンス	授業内容、評価の仕方についての説明	シラバスを読んでもくること	30
2	Unit 7	What's happening?	教科書p.44～49を読んでもくるこ	30
3	Unit 7	What's happening?	教科書p.44～49を読んでもくるこ	30
4	Unit 8	People	教科書p.50～55を読んでもくるこ	30
5	Unit 8	People	教科書p.50～55を読んでもくるこ	30
6	Unit 9	Having fun	教科書p.56～61を読んでもくるこ	30
7	Unit 9	Having fun	教科書p.56～61を読んでもくるこ	30
8	Review 3	Unit 7～9までのまとめ	教科書p.62～63を読んでもくるこ	30
9	Unit 10	Vacation	教科書p.64～69を読んでもくるこ	30
10	Unit 10	Vacation	教科書p.64～69を読んでもくるこ	30
11	Unit 11	Life stories	教科書p.70～75を読んでもくるこ	30
12	Unit 11	Life stories	教科書p.70～75を読んでもくるこ	30
13	Unit 12	Hopes and intentions	教科書p.76～81を読んでもくるこ	30
14	Unit 12	Hopes and intentions	教科書p.76～81を読んでもくるこ	30
15	Review 4	Unit 10～12までのまとめ	教科書p.82～83を読んでもくるこ	30
【テキスト】		Breakthrough Plus 1		
【参考書・参考資料等】				
【成績評価基準・方法】		授業態度(30%)、レポート(30%)、期末試験(40%)		

教科番号	205011	授業科目：実用英語Ⅰ (Practical English 1)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	2年 2単位	担当者：秦理恵子
【授業の到達目標】 聞く、話す、というコミュニケーションができる英語を身に着けるとともに、日常生活で必要なレベルの英文の読み書きの習得を目指す。				
【授業の概要】 発音記号による正しい発音の練習。反復練習による正しい文法の習得。会話練習と作文で発信する能力を訓練する。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	英語の発音	発音記号とその発音の仕方	第1課を発音記号で表す	30分 30分
2	第1課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第1課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
3	第1課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第1課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
4	第2課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第2課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
5	第2課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第2課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
6	第3課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第3課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
7	第3課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第3課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
8	Gazette	小テスト	第1課から第3課の復習 テストの復習	30分 30分
9	インタビュー	グループごとに英語でインタビューし、結果をまとめる	インタビューの質問を考える インタビュー結果を提出用に入力および印刷	30分 30分
10	第4課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第4課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
11	第4課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第4課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
12	第5課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第5課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
13	第5課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第5課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
14	Gazette	小テスト	第4課と第5課の復習 テストの復習	30分 30分
15	スキット	グループごとに英語で寸劇を作り、発表	寸劇のプロットと会話をつくる 他グループの寸劇に対する感想を英語で書く	30分 30分
【テキスト】		SIDE by SIDE Extra Level 3 Activity workbook with CDs		
【参考書・参考資料等】		授業時に適宜配布		
【成績評価基準・方法】		試験60% 課題10% 授業参加度30%		

教科番号	205021	授業科目： 実用英語Ⅱ (Practical English 2)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	2年 2単位	担当者： 秦理恵子
【授業の到達目標】 通じる発音と文法を使った英語でまとまった内容を発信できる能力を身に着ける				
【授業の概要】 会話、ディスカッション、プレゼンテーションを通して積極的にコミュニケーションを取る訓練をする				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	第6課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第6課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
2	第6課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第6課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
3	第7課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第7課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
4	第7課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第7課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
5	第8課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第8課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
6	第8課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第8課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
7	Gazette	小テスト	第7課と第8課の復習 テストの復習	30分 30分
8	文化紹介	自国の文化、その他各自テーマに沿ってスピーチ	スピーチ原稿の作成 他者のスピーチに対する感想文を課題として提出	30分 30分
9	第9課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第9課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
10	第9課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第9課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
11	第10課前半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第10課前半の予習 授業内容の復習	30分 30分
12	第10課後半	教科書に沿って文法の確認、会話及び作文	第10課後半の予習 授業内容の復習	30分 30分
13	Gazette	小テスト	第9課、第10課の復習 テストの復習	30分 30分
14	ディスカッション	時事、その他グループごとのテーマでディスカッション、結果をまとめる	希望テーマと意見の準備 グループごとの結果と自分の意見を入力および印刷し、課題として提出	30分 30分
15	プレゼンテーション	期末試験の発表原稿作成	期末試験の発表原稿下書き 発表原稿を入力および印刷して提出	30分 30分
【テキスト】		SIDE by SIDE Extra Level 3 Activity workbook with CDs		
【参考書・参考資料等】		授業時に適宜配布		
【成績評価基準・方法】		試験60% 課題10% 授業参加度30%		

教科番号	205031	授業科目：総合英語Ⅰ (General Learning of English 1)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	2年 2単位	担当者：大久 珠緒
【授業の到達目標】				
TOEICの出題傾向、解答の対策、解答に必要な英語力を習得することを目標としています。				
【授業の概要】				
教科書に沿って授業を行います。TOEICの練習問題を解くことによって、実践的な演習を進めます。出題傾向、解答時の注意事項も確認します。質問は随時受け付けます。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス	授業方針、評価についての説明		
2	Unit 1 Shopping	名詞	Unit 1のpart 1-part 7	60分
3	Unit 2 Food	形容詞・副詞	Unit 2のpart1-part7	60分
4	Unit 3 Health	比較	Unit 3のpart1-part7	60分
5	Unit 4 Media	動詞・助動詞	Unit 4のpart-part7	60分
6	Unit 5 Daily Life(1)	受動態と使役	Unit 5のpart 1-part 7	60分
7	Unit 6 Daily Life (2)	主語・動詞の一致	Unit 6のpart1-part7	60分
8	中間試験	Unit 1-Unit 6のまとめ	Unit 1-Unit 6の見直し	120分
9	Unit 7 Travel	文の構造	Unit 7のpart1-part7	60分
10	Unit 8 Office Work(1)	動名詞・不定詞	Unit 8のpart1-part7	60分
11	Unit 9 Office Work(2)	前置詞	Unit 9のpart1-part7	60分
12	Unit 10 Meetings	接続詞	Unit 10のpart1-part7	60分
13	Unit 11 Factories	時制	Unit 11のpart1-part7	60分
14	Unit 12 Products	完了形	Unit 12のpart1-part7	60分
15	Unit 13 Technology	仮定法	Unit 13のpart1-part7	60分
【テキスト】		PRIMARY PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST 長谷川由美 他著 三修社		
【参考書・参考資料等】		授業時に指示します。		
【成績評価基準・方法】		授業態度（30％）、試験（70％）		

教科番号	205041	授業科目：英会話入門 (English Conversation - Introduction)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	2年 2単位	担当者：大久 珠緒
【授業の到達目標】 この授業では、日常生活に即した英語に触れることにより、リスニング能力や会話能力等、実践的な英語コミュニケーション能力を習得することを目標としています。				
【授業の概要】 教科書に沿って授業を行います。授業では、クラスメートとのペアワークや英語での会話、リスニング、質疑応答等で、授業に積極的に参加することが求められます。質問は随時受け付けます。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	ガイダンス	授業方針、評価についての説明		
2	Unit 1 友人を作る	リスニング、会話	Unit 1のリスニング、会話	60分
3	Unit 2 スポーツ	リスニング、会話	Unit 2のリスニング、会話	60分
4	Unit 3 家族	リスニング、会話	Unit 3のリスニング、会話	60分
5	Unit 4 料理	リスニング、会話	Unit 4のリスニング、会話	60分
6	Unit 5 アルバイト	リスニング、会話	Unit 5のリスニング、会話	60分
7	Unit 6 映画	リスニング、会話	Unit 6のリスニング、会話	60分
8	中間試験	Unit 1-Unit 6のまとめ	Unit 1-Unit 6を見直す	120分
9	Unit 7 友人との連絡	リスニング、会話	Unit 7のリスニング、会話	60分
10	Unit 8 一人暮らし	リスニング、会話	Unit 8のリスニング、会話	60分
11	Unit 9 ファッション	リスニング、会話	Unit 9のリスニング、会話	60分
12	Unit 10 ドライブ	リスニング、会話	Unit 10のリスニング、会話	60分
13	Unit 11 ボランティア	リスニング、会話	Unit 11のリスニング、会話	60分
14	Unit 12 デート	リスニング、会話	Unit 12のリスニング、会話	60分
15	Unit 13 音楽	リスニング、会話	Unit 13のリスニング、会話	60分
【テキスト】		On Air Graeme Todd, Roger Palmer, Makimi Kano 著 金星堂		
【参考書・参考資料等】		授業時に指示します。		
【成績評価基準・方法】		授業態度（40％）、試験（60％）		

教科番号	0505	授業科目:	基礎中国語 (Basic Chinese 基础汉语)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科 (1)年 (2)単位	担当者: 丹野健一郎	
【授業の到達目標】				
まず、この科目は2017年度入学者で中国語の学習を希望する非中国語圏の学生(日本人、ネパール人、バングラデシュ人、ベトナム人、ミャンマー人など)を対象として開講する。次に、この授業で使用するテキストは、「はじめまして！中国語」(白水社)であり、各場面の学習を通して、身近な内容から現代中国語(普通話とよばれる標準語)の基礎・基本を身につける。そして、現代中国語の学習を通して、中国の文化、社会などに対する理解も深め、現代中国に関する基本的知識を学ぶことを目標としている。				
【授業の概要】				
中国語の入門講義として、発音や基本文法などの基礎を重視し、実践的な日常会話を場面ごとに学ぶ。教科書の各課のテーマに従い、関連する現代の中国の各事情(社会、歴史、風俗、民族、経済などを含む)を紹介する。この「基礎中国語」は、発音を含む基礎段階の知識を学習してから、その後、本文の第1課から第6課程度(ただし、実際の進捗状況による)を学習し、後期開講の「中国語」では第7課から第12課を学習し、基礎レベルの習得を目指す予定である。よって、「基礎中国語」を選択する者は後期開講の「中国語」を履修することを強く望む。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	授業ガイダンス	中国語の世界	ガイダンス、注意事項等	全体で 90分
2	発音編	発音練習①	発音練習①	全体で 90
3	発音編	発音練習②	前回の復習、発音練習②	30 60
4	発音編	発音練習③	前回の復習、発音練習③	30 60
5	発音編のまとめ	発音編まとめ	到達度チェック	全体で 90
6	第1課	校門で	第1課の内容	全体で 90
7	第2課	廊下で	前回の復習、第2課の内容	30 60
8	第3課	キャンパスで	前回の復習、第3課の内容	30 60
9	第1課～第3課、まとめ	まとめ(復習)	第1課～第3課の総復習	全体で 90
10	第4課	携帯を見ながら	第4課の内容、自己紹介	全体で 90
11	第5課	学生食堂で	前回の復習、第5課の内容	30 60
12	第6課	王先生の研究室で	前回の復習、第6課の内容	30 60
13	第4課～第6課のまとめ	まとめ(復習)	第4課～第6課の総復習	全体で 90分
14	発音編～第3課までの総復習	総復習①	総復習、試験の指示	全体で 90
15	第4課～第6課までの総復習	総復習②	総復習、試験の指示	全体で 90
【テキスト】		はじめまして!中国語(予定)白水社		
【参考書・参考資料等】		授業内で指示する。		
【成績評価基準・方法】		授業内小テストと出席＋期末試験＋課題で総合的に評価する。欠席等の授業態度不良の者は評価の対象としない。詳細は初回の授業ガイダンスで説明する。		

教科番号	0506	授業科目:	中国語 (Chinese 汉语)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 (1)年 (2)単位	担当者: 丹野健一郎		
【授業の到達目標】					
まず、この科目は2017年度入学者であり、中国語の学習を希望する非中国語圏の学生(日本人、ネパール人、バングラデシュ人、ベトナム人、ミャンマー人など)を対象として前期に開講した「基礎中国語」の内容を継続した科目として開講する。次に、この授業で使用するテキストは、「はじめまして！中国語」(白水社)である。教科書の内容に従い、各場面の学習を通じて、身近な内容から現代中国語(普通話とよばれる標準語)の基礎・基本を身につける。さらに、現代中国語の学習を通して、中国の文化、社会などに対する理解も深め、現代中国に関する基本的知識を学ぶことを目標としている。					
【授業の概要】					
前期「基礎中国語」のふりかえり、および、この授業科目で指定している教科書本文の第7課から第12課(ただし、実際の進捗状況による)までを学習し、初歩レベルの中国語の習得を目指す予定である。					
【授業要旨】					
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)	
1	授業ガイダンス＋振り返り	前期のおさらい①	前期の内容を振り返る	全体で 90分	
2	振り返り	前期のおさらい②	前期の内容を振り返る	全体で 90	
3	第7課	コンビニで	前回の復習、第7課の内容	30 60	
4	第8課	バス停で	前回の復習、第8課の内容	30 60	
5	7～8課の振り返り	小まとめ	前回の復習、到達度チェック	30 60	
6	第9課	放課後に	到達度チェック解説、第9課の内容	30 90	
7	第10課	卓球の中継を見ながら	前回の復習、第10課の内容	30 60	
8	9～10課の振り返り	小まとめ	前回の復習、到達度チェック	30 60	
9	第11課	ディズニーランドで待ち合わせ	前回の復習、第11課の内容	30 60	
10	第12課	カフェテラスで	前回の復習、第12回の内容	30 60	
11	11～12課の振り返り	小まとめ	前回の復習、到達度チェック	30 60	
12	まとめ①	授業内容全体の振り返り	総復習①	全体で 90	
13	まとめ②	授業内容全体の振り返り	総復習②	全体で 90分	
14	まとめ③	模擬試験①(HSKの紹介など)	(教員の指示に従う)	全体で 90	
15	まとめ④	模擬試験②(定期試験について)	(教員の指示に従う)	全体で 90	
【テキスト】		はじめまして!中国語(予定)白水社			
【参考書・参考資料等】		授業内で指示する。			
【成績評価基準・方法】		授業内小テストと出席＋期末試験＋課題で総合的に評価する。欠席等の授業態度不良の者は評価の対象としない。詳細は初回の授業ガイダンスで説明する。			

教科番号	0067	授業科目:	日本語講座AⅠ(Foreign LanguageAⅠ)	
開講時期	前期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者: 平田・富吉・白井	
【授業の到達目標】				
＜目的＞				
大学で学ぶ上で必要なアカデミックジャパニーズの基礎を身につける				
＜到達目標＞				
・自分の意見が述べられるようになる				
・ふさわしい文体や語彙を用いて、メールや簡単なレポートが書けるようになる				
・読解ストラテジーを習得し、必要な情報を取捨選択できるようになる				
・形式に則ったプレゼンテーションができるようになる				
・各レベルに応じた各種資格試験に合格する				
【授業の概要】				
本講座では、日本語能力に応じて3レベルに分け、各レベルに沿った難易度、進度で進める。				
なお、クラス分けは日本語能力試験およびオリエンテーション時に行われるブレースメント試験の結果によるものとする。＜月曜:平田・富吉担当＞				
・日本語によるメールの表現や書き方、コミュニケーション上のマナーを学ぶ				
・対人性、場面性を意識したライティング・スキルを身に着ける				
・ニュースや新聞記事等の要点を素早く捉えるとともに、それについての意見を述べるトレーニングを行う				
・日本語によるプレゼンテーションの流れを学び、身近なトピックをとりあげ、PPTを用いたグループ発表を行う				
＜金曜:平田・白井担当＞				
・漢字、語彙、文法、読解などを分野別に学び、日本語能力試験やBJT等の各種資格試験の合格を目指す				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション(平田・富吉)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 漢字プリント	30 60
2	オリエンテーション(平田・白井)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 文字語彙プリント	30 60
3	日本語演習1	プロフィシエンシーライティング1課「アポイントを取る」 リーディング:速読とは	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
4	日本語演習2	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
5	日本語演習3	プロフィシエンシーライティング2課「アドバイスを求める」 リーディング:スキミング技術①	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
6	日本語演習4	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
7	日本語演習5	プロフィシエンシーライティング3課「伝言する」 リーディング:スキミング技術②	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
8	日本語演習6	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
9	日本語演習7	プロフィシエンシーライティング4課「誘う」 リーディング:スキミング技術③	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
10	日本語演習8	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
11	日本語演習9	プロフィシエンシーライティング5課「誘われる」 リーディング:スキミング技術①	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
12	日本語演習10	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
13	日本語演習11	プロフィシエンシーライティング6課「謝る」 リーディング:スキミング技術②	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
14	日本語演習12	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
15	日本語演習13	プロフィシエンシーライティング7課「募集する」 リーディング:スキミング技術③	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
16	日本語演習14	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
17	日本語演習15	プロフィシエンシーライティング8課「問い合わせる」 リーディング:ストラテジー応用法①	漢字プリント 授業内容の復習	60 60

18	日本語演習16	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
19	日本語演習17	プロフィシエンシーライティング9課「依頼する」 リーディング: ストラテジー応用法②	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
20	日本語演習18	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
21	日本語演習19	プロフィシエンシーライティング10課「依頼される」 リーディング: ストラテジー応用法③	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
22	日本語演習20	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
23	日本語演習21	プロフィシエンシーライティング11課「報告する」 リーディング: ストラテジー応用法④	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
24	日本語演習22	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
25	日本語演習23	プロフィシエンシーライティング12課「お礼を言う」 リーディング: 実践編①	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
26	日本語演習24	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
27	日本語演習25	プロフィシエンシーライティング13課「なぐさめる、一緒に喜ぶ」 リーディング: 実践編②	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
28	日本語演習26	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
29	日本語演習27	プロフィシエンシーライティング 復習 リーディング: 実践編③	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
30	日本語演習28	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
【テキスト】		授業内で指示する		
【参考書・参考資料等】		授業中に、適宜配布・指示する		
【成績評価基準・方法】		提出課題(レポート、自宅学習用プリント)、プレゼンテーション、クイズ、定期試験、授業態度により評価。詳細はオリエンテーションで説明する。		

教科番号	0068	授業科目:	日本語講座AⅡ (Foreign LanguageAⅡ)	
開講時期	後期	情報電子システム工学科 1年 2単位	担当者: 平田・富吉・臼井	
【授業の到達目標】				
<目的>				
大学で学ぶ上で必要なアカデミックジャパニーズの基礎を身につける				
<到達目標>				
・自分の意見が述べられるようになる				
・ふさわしい文体や語彙を用いて、メールや簡単なレポートが書けるようになる				
・読解ストラテジーを習得し、必要な情報を取捨選択できるようになる				
・形式に則ったプレゼンテーションができるようになる				
・各レベルに応じた各種資格試験に合格する				
【授業の概要】				
本講座では、日本語能力に応じて3レベルに分け、各レベルに沿った難易度、進度で進める。				
なお、クラス分けは日本語能力試験およびオリエンテーション時に行われるプレースメント試験の結果によるものとする。<月曜:平田・富吉担当>				
・日本語によるメールの表現や書き方、コミュニケーション上のマナーを学ぶ				
・対人性、場面性を意識したライティング・スキルを身に着ける				
・ニュースや新聞記事等の要点を素早く捉えらるとともに、それについての意見を述べるトレーニングを行う				
・日本語によるプレゼンテーションの流れを学び、身近なトピックをとりあげ、PPTを用いたグループ発表を行う				
<金曜:平田・臼井担当>				
・漢字、語彙、文法、読解などを分野別に学び、日本語能力試験やBJT等の各種資格試験の合格を目指す				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション(平田・富吉)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 漢字プリント	30 60
2	オリエンテーション(平田・臼井)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 文字語彙プリント	30 60
3	日本語演習1	レポート・論文を書くための日本語文法①	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
4	日本語演習2	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
5	日本語演習3	レポート・論文を書くための日本語文法②	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
6	日本語演習4	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
7	日本語演習5	レポート・論文を書くための日本語文法③	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
8	日本語演習6	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
9	日本語演習7	レポート・論文を書くための日本語文法④	漢字プリント 授業内容の復習	60 60
10	日本語演習8	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
11	日本語演習9	レポート・論文を書くための日本語文法⑤	漢字プリント レポートのための調べ学習	60 60
12	日本語演習10	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
13	日本語演習11	レポート・論文を書くための日本語文法⑥	漢字プリント レポートのための調べ学習	60 60
14	日本語演習12	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
15	日本語演習13	レポート・論文を書くための日本語文法⑦	漢字プリント レポートのための調べ学習	60 60
16	日本語演習14	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
17	日本語演習15	レポート・論文を書くための日本語文法⑧	漢字プリント レポート作成	60 60

18	日本語演習16	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
19	日本語演習17	レポート・論文を書くための日本語文法⑨	漢字プリント レポート作成	60 60
20	日本語演習18	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
21	日本語演習19	レポート・論文を書くための日本語文法⑩	漢字プリント レポート作成	60 60
22	日本語演習20	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
23	日本語演習21	プレゼンテーション①(課題や発表規定の説明)	漢字プリント プレゼン準備	60 60
24	日本語演習22	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
25	日本語演習23	プレゼンテーション②(PPT構成)	漢字プリント プレゼン準備	60 60
26	日本語演習24	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
27	日本語演習25	プレゼンテーション③(引用方法)	漢字プリント プレゼン準備	60 60
28	日本語演習26	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
29	日本語演習27	プレゼンテーション④(質疑応答などの発表マナー)	漢字プリント プレゼン準備	60 60
30	日本語演習28	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
【テキスト】		授業内で指示する		
【参考書・参考資料等】		授業中に、適宜配布・指示する		
【成績評価基準・方法】		提出課題(レポート、自宅学習用プリント)、プレゼンテーション、クイズ、定期試験、授業態度により評価。詳細はオリエンテーションで説明する。		

教科番号	0069	授業科目:	日本語講座B I	
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者: 平田昌子・富吉結花	
【授業の到達目標】				
<目的>				
①アカデミックジャパニーズを更に伸ばし、卒業研究を遂行するための基盤を作る。				
②就職活動や卒業後を視野に入れ、主に他者とのコミュニケーションに必要な日本語力を身につける。				
【到達目標】				
・テーマを多角的に考察した上で、根拠とともに自分の意見が述べられるようになる				
・語彙・文法を更に伸ばし、さらに高度にアカデミックな文章を読み書きできるようになる				
・各レベルに応じた各種資格試験に合格する				
【授業の概要】				
本講座では、日本語能力に応じて3レベルに分け、各レベルに沿った難易度、進度で進める。				
なお、レベル分けは日本語能力試験およびオリエンテーション時に行われるプレースメント試験の結果によるものとする。				
<水曜>				
・漢字、語彙、文法、読解などを分野別に学び、日本語能力試験やBJT等の各種資格試験の合格を目指す				
<金曜>				
・リサーチクエスチョンを明示し、その結果と考察を論理的にプレゼンできる力を養う				
・賛否両論ある話題をとり上げ、物事を多角的に考察し、論理的に意見を述べる力を養う				
・より円滑にコミュニケーションをするため、インターアクションに必要なスキルのトレーニングを行う				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション(水曜)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 文字語彙プリント	30 60
2	オリエンテーション(金曜)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 漢字プリント	30 60
3	日本語演習1	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
4	日本語演習2	レポート・論文を書くための日本語文法① レポートの書き方①(論理的な文章とは)	漢字プリント 復習・レポート準備/執筆	30 90
5	日本語演習3	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
6	日本語演習4	レポート・論文を書くための日本語文法② レポートの書き方②(構成・章立て)	漢字プリント 復習・レポート準備/執筆	30 90
7	日本語演習5	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
8	日本語演習6	レポート・論文を書くための日本語文法③ レポートの書き方③(データの扱い)	漢字プリント 復習・レポート準備/執筆	30 90
9	日本語演習7	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
10	日本語演習8	レポート・論文を書くための日本語文法④ レポートの書き方④(引用方法)	漢字プリント 復習・レポート準備/執筆	30 90
11	日本語演習9	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
12	日本語演習10	レポート・論文を書くための日本語文法⑤ レポートの書き方⑤(考察・まとめ)	漢字プリント 復習・レポート準備/執筆	30 90
13	日本語演習11	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
14	日本語演習12	アカデミック・プレゼンテーション①(リサーチクエスチョンとは)	漢字プリント プレゼンテーション準備	30 90
15	日本語演習13	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60

16	日本語演習14	アカデミック・プレゼンテーション②(構成・各部の内容)	漢字プリント プレゼンテーション準備	30 90
17	日本語演習15	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
18	日本語演習16	アカデミック・プレゼンテーション③(発表にふさわしい語彙・表現)	漢字プリント プレゼンテーション準備	30 90
19	日本語演習17	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
20	日本語演習18	アカデミック・プレゼンテーション④(引用・視覚情報の活用)	漢字プリント プレゼンテーション準備	30 90
21	日本語演習19	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
22	日本語演習20	アカデミック・プレゼンテーション⑤(伝えるための音声)	漢字プリント プレゼンテーション準備	30 90
23	日本語演習21	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
24	日本語演習22	プレゼンテーション準備	漢字プリント プレゼンテーション準備	30 90
25	日本語演習23	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
26	日本語演習24	プレゼンテーション試験1	プレゼンテーション準備 振り返りシート/コメントシート	90 30
27	日本語演習25	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
28	日本語演習26	プレゼンテーション試験2	プレゼンテーション準備 振り返りシート/コメントシート	90 30
29	日本語演習27	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
30	日本語演習28	プレゼンテーション試験3	プレゼンテーション準備 振り返りシート/コメントシート	90 30
【テキスト】		授業内で指示する		
【参考書・参考資料等】		授業中に、適宜配布・指示する		
【成績評価基準・方法】		提出課題(レポート、自宅学習用プリント)、プレゼンテーション、クイズ、定期試験、授業態度により評価。詳細はオリエンテーションで説明する。		

教科番号	0070	授業科目:	日本語講座BⅡ	
開講時期	後期	情報電子システム工学科 2年 2単位	担当者: 平田昌子・富吉結花	
【授業の到達目標】				
＜目的＞				
①アカデミックジャパニーズを更に伸ばし、卒業研究を遂行するための基盤を作る。				
②就職活動や卒業後を視野に入れ、主に他者とのコミュニケーションに必要な日本語力を身につける。				
【到達目標】				
・テーマを多角的に考察した上で、根拠とともに自分の意見が述べられるようになる				
・語彙・文法を更に伸ばし、さらに高度にアカデミックな文章を読み書きできるようになる				
・他者に配慮しながらディスカッションなどのやりとりができるようになる				
・各レベルに応じた各種資格試験に合格する				
【授業の概要】				
本講座では、日本語能力に応じて3レベルに分け、各レベルに沿った難易度、進度で進める。				
なお、レベル分けは日本語能力試験およびオリエンテーション時に行われるプレースメント試験の結果によるものとする。				
＜水曜＞				
・漢字、語彙、文法、読解などを分野別に学び、日本語能力試験やBJT等の各種資格試験の合格を目指す				
＜金曜＞				
・賛否両論ある話題をとり上げ、物事を多角的に考察し、論理的に意見を述べる力を養う				
・相手に配慮をしながら自分の意見を述べる力を養い、ディスカッションの練習をする				
・より円滑にコミュニケーションをするため、インターアクションに必要なスキルのトレーニングを行う				
・自己分析をしながら、実際に就職活動を行う際に必要となる自己PR文などを書く力を養う				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション(水曜)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 文字語彙プリント	30 60
2	オリエンテーション(金曜)	授業目標、内容、進め方、評価方法、教科書の説明	シラバスの内容を確認する 漢字プリント	30 60
3	日本語演習1	ディスカッション①(意見を述べる)	漢字プリント 復習・口頭練習	60 60
4	日本語演習2	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
5	日本語演習3	ディスカッション②(質問・聞き返し)	漢字プリント 復習・口頭練習	30 90
6	日本語演習4	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
7	日本語演習5	ディスカッション③(賛成する)	漢字プリント 復習・口頭練習	30 90
8	日本語演習6	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
9	日本語演習7	ディスカッション④(反対する)	漢字プリント 復習・口頭練習	30 90
10	日本語演習8	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
11	日本語演習9	ディスカッション⑤(部分的賛否・反駁)	漢字プリント 復習・口頭練習	30 90
12	日本語演習10	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
13	日本語演習11	模擬ディスカッション	模擬ディスカッション準備 振り返りシート記入	90 30
14	日本語演習12	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
15	日本語演習13	模擬ディスカッションフィードバック ディスカッション試験準備	意見メモ作成 ディスカッション試験準備	30 90

16	日本語演習14	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
17	日本語演習15	ディスカッション試験1	ディスカッション試験準備 振り返りシート記入	30 90
18	日本語演習16	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
19	日本語演習17	ディスカッション試験2	ディスカッション試験準備 振り返りシート記入	30 90
20	日本語演習18	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
21	日本語演習19	自己PR文①(自己PRとは、自己分析)	漢字プリント 復習・自己PR文準備/執筆	60 60
22	日本語演習20	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
23	日本語演習21	自己PR文②(語彙・表現)	漢字プリント 復習・自己PR文準備/執筆	30 90
24	日本語演習22	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
25	日本語演習23	自己PR文③(構成)	漢字プリント 復習・自己PR文準備/執筆	30 90
26	日本語演習24	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
27	日本語演習25	自己PR文④(効果的な表現)	漢字プリント 復習・自己PR文準備/執筆	30 90
28	日本語演習26	日本語能力試験対策(漢字、文字語彙、文法、読解)	文字語彙プリント 授業内容の復習	60 60
29	日本語演習27	自己PR文⑤(推敲の方法)	漢字プリント 復習・自己PR文準備/執筆	30 90
30	日本語演習28	定期試験	総復習	120
【テキスト】		授業内で指示する		
【参考書・参考資料等】		授業中に、適宜配布・指示する		
【成績評価基準・方法】		提出課題、ディスカッション、クイズ、定期試験、授業態度により評価。詳細はオリエンテーションで説明する。		

教科番号	0159	授業科目:	コミュニケーション技術 I (Techniques of Communications 1)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科	(3)年	1 単位	担当者: 丹野 健一郎
【授業の到達目標】					
この科目は主に外国人留学生を対象として開講し、大学生としてふさわしい日本語の「読む、書く、聴く、話す」という 4 つの技能の向上を目指すことを目標とする。					
【授業の概要】					
特に日本語によるレポートなどについて、各種用途に応じた文章の書き方、および、聴き手や読み手に訴える日本語表現力を向上させるため、受講者たちの理解度や発言頻度を見ながら、適宜、教員作成のプリントを使用し、授業内課題を作成する。					
【授業要旨】					
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)	
1	授業ガイダンス	授業ガイダンス、および各自の自己紹介文を作成してみよう	ガイダンス、自己紹介文の作成	45	
				45	
2	印象が残る書き方①	自己紹介文を読んでみよう	前回の振り返り、今回取り扱う内容について	45	
				45	
3	印象が残る書き方②	自己紹介文を読んでみよう	前回の振り返り、今回取り扱う内容について	45	
				45	
4	中間まとめ	前回の振り返り、小まとめ(および学生と討論)	前回の振り返り、小まとめ	45	
				45	
5	読み方と聴き方の練習①	日本語によるインタビュー	前回の振り返り、今回取り扱う内容について	45	
				45	
6	読み方と聴き方の練習②	日本語によるインタビュー	前回の振り返り、今回取り扱う内容について	45	
				45	
7	中間まとめ	前回の振り返り、小まとめ(および学生と討論)	前回の振り返り、小まとめ	45	
				45	
8	印象が残る書き方③	商品やサービスの説明文から考える	前回の振り返り、今回取り扱う内容について	45	
				45	
9	印象が残る書き方④	商品やサービスの説明文から考える	前回の振り返り、今回取り扱う内容について	45	
				45	
10	中間まとめ	前回の振り返り、小まとめ(および学生と討論)	前回の振り返り、小まとめ	45	
				45	
11	読み方と聴き方の練習③	日本語による発表	前回の振り返り、今回取り扱う内容について	45	
				45	
12	読み方と聴き方の練習④	日本語による発表	前回の振り返り、今回取り扱う内容について	45	
				45	
13	中間まとめ	前回の振り返り、小まとめ(および学生と討論)	前回の振り返り、小まとめ	45	
				45	
14	(※) ゲストスピーカーによる講演、または映像視聴	講演、または映像の視聴	質問、議論	45	
				45	
15	まとめ	これまでの振り返り	これまでの振り返り	全体で 90	
【テキスト】		教員作成のプリント			
【参考書・参考資料等】		参考図書は、授業内で適宜、紹介する。			
【成績評価基準・方法】		出席態度と課題作成で 30%、試験で 70%の合計 100%とする。なお、課題提出にあたっては、他人からの無断引用、および剽窃したものと本授業科目の担当教員が判断した場合は出席態度不良として、成績評価の対象外として、再履修となる。			

教科番号	0160	授業科目: コミュニケーション技術Ⅱ (Techniques of Communications Ⅱ)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	4年 1単位	担当者: 谷口 洋司
【授業の到達目標】 ・工学部の学生の基礎知識として必須となる、情報電子基礎数理について補習学習し、専門科目を習得できるための基礎能力を付けることができる。				
【授業の概要】 情報電子基礎数理解習の前提となる各種関数(べき関数、指数関数、対数関数、三角関数など)および微分法・積分法の基礎につき学習する。毎回の授業の冒頭に指名した学生に壇上にて前回講義例題を解かせるあるいはミニテストを実施する。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	各種関数(1)	べき関数、指数関数、対数関数	シラバスの内容を確認する。 授業内容を復習する。	45 45
2	各種関数(2)	三角関数	テキスト(pp.1-9)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	45 45
3	微分係数と導関数	平均変化率、微分係数、導関数	テキスト(pp.9-13)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	45 45
4	導関数の性質(1)	導関数に関する定理の証明	テキスト(pp.14-19)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	45 45
5	導関数の性質(2)	三角関数の導関数	テキスト(pp.20-22)を読みまとめる。 授業内容を復習する。	45 45
6	導関数の性質(3)	指数関数の導関数	テキスト(pp.23-25)を読みまとめる。授業内容を復習する。	45 45
7	1回～6回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める ディスカッションの内容をまとめる。	45 45
8	微分法のまとめ(1)	練習問題の解説(1)	テキスト(pp.26)を読みまとめる。授業内容を復習する。	45 45
9	微分法のまとめ(2)	練習問題の解説(2)	テキスト(pp.27)を読みまとめる。授業内容を復習する。	45 45
10	不定積分(1)	不定積分の公式(1)	テキスト(pp.78-79)を読みまとめる。授業内容を復習する。	45 45
11	不定積分(2)	不定積分の公式(2)	テキスト(pp.80-81)を読みまとめる。授業内容を復習する。	45 45
12	定積分の定義	定積分の定義と性質	テキスト(pp.82-85)を読みまとめる。授業内容を復習する。	45 45
13	定積分の計算	定積分の計算方法	テキスト(pp.90-91)を読みまとめる。授業内容を復習する。	45 45
14	8回～13回までのまとめ	演習問題の解答・解説とまとめについてディスカッションを行い理解を深める。	演習問題を解き理解を深める。 授業内容を復習する。	45 45
15	まとめ	総括と期末テスト対策。	期末試験の準備 ノートの整理とまとめ	45 45
【テキスト】		「新微分積分Ⅰ」高橋節夫ほか5名著 大日本図書		
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜紹介する。		
【成績評価基準・方法】		評価期末試験 80%,課題提出 20%により総合的に評価を行う。		

教科番号	0939	授業科目：キャリアデザインⅠ (Career Design)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 2年 1単位	担当者：松本 真理	
【授業の到達目標】				
・日本人のコミュニケーション特徴を知ること。				
・日本企業で働くために必要なビジネス・マナーを習得すること。				
・就職活動の一環として履歴書作成の準備をする(自分史、自己分析をすること)				
【授業の概要】				
・講義中心ではなく、伝えたことが学生が理解しているかを確認しながら授業を進めます。				
・必要に応じて実習を取入れます。				
・学生ができるだけ発言できるように心がけています。				
・各授業においては、アクティブラーニングを意識しています。				
・小テストは、まとめのテスト以外に数回の実施を予定しています。				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション	あいさつ、スケジュール説明、授業目的 自己紹介のしかた、実習	シラバスの確認	30
2	異文化コミュニケーション	自国人と日本人の違い(話し合い、整理)	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
3	異文化コミュニケーション	日本人のコミュニケーションのとり方 ・特徴 ・気をつける点	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
4	日本企業で働くために ビジネス・マナー	「挨拶・お辞儀・表情」 実習	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
5	日本企業で働くために ビジネス・マナー	「立ち方・歩き方・座り方」 実習	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 120
6	日本企業で働くために ビジネス・マナー	「身だしなみ」 小テスト 小テスト ・自分の印象を知る	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 120
7	日本企業で働くために ビジネス・マナー	「来客応対マナー」 実習 ・名刺交換 ・席順	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 60
8	日本企業で働くために ビジネス・マナー	「訪問マナー」 実習 ・	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
9	日本企業で働くために ビジネス・マナー	言葉遣い 状況に合う敬語の使い方	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
10	日本企業で働くために ビジネス・マナー	言葉遣い 社会人として話す 実習	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
11	日本企業で働くために ビジネス・マナー	言葉遣い 就活 電話での話し方 小テスト	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
12	日本企業で働くために ビジネス・マナー	言葉遣い 会社での電話応対	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
13	日本企業で働くために ビジネス・マナー	ビジネス・メールの書き方 はがき、封書の書き方	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
14	日本企業で働くために ビジネス・マナー	基本的なビジネス文書 社内・社外文書の書き方	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
15	日本企業で働くために ビジネス・マナー	前期のまとめ、小テストの実施	小テストの準備 配布資料の整理とまとめ	60 120
【テキスト】		プリントを使用、次の授業の資料を毎回配布する		
【参考書・参考資料等】				
【成績評価基準・方法】		試験(60%)、授業態度(20%)、出欠状況(10%)、小テスト(10%)		

教科番号	0938	授業科目： キャリアデザインⅡ (Career Development 2)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	2年 1単位	担当者： 松本真理
【授業の到達目標】 日本企業に就職するために必要な基本的なビジネスマナーを習得すること。そして、それらが学生にとって就職活動及び入社後に役立つこと。				
【授業の概要】 ・就職活動を意識した授業内容とする ・同時に、日本式の「ビジネス・マナーの基本」を項目毎に伝える ・日本語のボキャブラリーを増やすことを意識する。また同時に出来るだけ日本語を使うように意識して進行する				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題（予習・復習）	時間(分)
1	日本企業で働くために ビジネス・マナー	就職活動について ・企業研究 ・業界研究	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
2	日本企業で働くために ビジネス・マナー	履歴書の書き方 ・自己分析 ・自己PR	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
3	日本企業で働くために ビジネス・マナー	履歴書の書き方 作成のポイント	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
4	日本企業で働くために ビジネス・マナー	履歴書の提出	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
5	日本企業で働くために ビジネス・マナー	就職活動の心構え 実習	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
6	日本企業で働くために ビジネス・マナー	身だしなみのマナー 服装、髪型、靴、かばんなど	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
7	日本企業で働くために ビジネス・マナー	就職面接について 面接の種類、面接の流れなど	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
8	日本企業で働くために ビジネス・マナー	就職面接実習 自己PR編	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
9	日本企業で働くために ビジネス・マナー	就職面接実習 自己PR編	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
10	日本企業で働くために ビジネス・マナー	訪問のマナー、来客対応 小テスト	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
11	日本企業で働くために ビジネス・マナー	訪問のマナー、来客対応 実習	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 90
12	日本企業で働くために ビジネス・マナー	報告・連絡・相談 の必要性 「ほうれんそう」のしかた	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 30
13	日本企業で働くために ビジネス・マナー	報告・連絡・相談 ケーススタディー 小テスト	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 90
14	日本企業で働くために ビジネス・マナー	テスト演習	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 90
15	日本企業で働くために ビジネス・マナー	テスト演習	配布資料を読み、整理する 授業内容を復習する	30 90
【テキスト】		プリントを使用、次の授業の資料を毎回配布する		
【参考書・参考資料等】				
【成績評価基準・方法】		試験（60％）、授業態度（20％）、出欠状況（10％）、小テスト（10％）		

教科番号	0934	授業科目:	ベンチャービジネス論(Theory of Venture Business)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	2年	2単位	担当者: 原 吉伸
【授業の到達目標】 ベンチャービジネスの様々な事例研究と、講師との討議を通して、本講義では以下の4つを学ぶ ・ビジネスモデルの設計方法 ・ビジネスプランの作成方法 ・ベンチャースピリッツ ・企業家に求められるスキル・知識 ベンチャービジネスの企画プロセスを疑似体験することで、起業のイメージを形成できるレベルを目指す					
【授業の概要】 ベンチャービジネスを実践している企業は、「世の中をどうやって変えていくか」というイノベティブな発想に基づく経営理念を持っており、起業家として負けず嫌いで強烈な熱意も持っている 本講義では、日本発のベンチャービジネスの事例研究をしながら、 1. 「顧客ニーズの把握」と「差別化された製品・サービスの提供」をしっかりとらえること、 2. 財務計画に基づくビジネスプランを作成すること 3. 革新的ビジネスモデルを設計すること に重点を置いて、ビジネス企画のプレゼンテーションや双方向のディスカッションを加えて講義を進める					
【授業要旨】					
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)	
1	ベンチャービジネスについて	ベンチャービジネスの定義と講義の進め方を解説。宿題を出す	シラバスを確認する。宿題と授業の内容を復習する	30 60	
2	事例研究(I)	宿題の発表後、「コンビニと置き菓子」ビジネスを取り上げて、しくみを学ぶ	「コンビニと置き菓子」ビジネスの予習・復習を行う	60 60	
3	ビジネスモデル(I)	宿題の発表後、ビジネスモデルの定義と事例を取り上げて、パターンを学ぶ	ビジネスモデルの定義について、予習・復習を行う	60 60	
4	事例研究(II)	宿題の発表後、「宅配便とAmazon」のビジネスを取り上げて、長所・短所を学ぶ	「宅配便とAmazon」のビジネスについて、予習と復習を行う	60 60	
5	ビジネスモデル(II)	宿題の発表後、「クラウド・コンピューティング」のビジネスモデルを考察する	「クラウド・コンピューティング」のビジネスを予習と復習を行う	60 60	
6	事例研究(III)	宿題の発表後、「セコム」のビジネスを学ぶ。ビジネス企画を行う	セコムの「ネットワーク型ビジネス」を予習・復習する	60 60	
7	ビジネス企画発表・評価	選抜されたものがプレゼンを行い、学生が評価する	プレゼンの準備を行う	120 60	
8	ビジネスモデル(III)	業務プロセス設計、業務フロー図の書き方を学ぶ	業務フローの作成について、予習と復習を行う	60 30	
9	まとめと振り返り(I)	第1回～8回までの「中間テスト」を行う	中間テストの実施で理解を深める	120 60	
10	ビジネスアイデアの抽出法	中間テストの解説後、ビジネスアイデアの抽出方法を学ぶ	中間テストの解説で、間違えた箇所を再確認する	60 60	
11	ビジネスモデル(IV)	「ロングテール」「フリー」などの特徴をもつ「インターネットサービス」を考察する	「インターネットサービス」のビジネスの予習と復習を行う	120 60	
12	ビジネスプラン作成(I)	財務計画を作成するための基礎知識を学ぶ	財務の基礎知識について予習と復習を行う	60 30	
13	ビジネスプラン作成(II)	戦略立案のために、ミニ・ケーススタディーを行う	基本的な戦略手法を予習・復習する	60 60	
14	ビジネスプラン作成(III)	顧客ニーズの把握、製品・サービスの差別化に関する事例研究する	顧客ニーズ分析や差別化戦略について予習と復習を行う	60 60	
15	まとめと振り返り(II)	まとめと総括、「総括テスト」を行う。テスト後、解説を行う	総括テストの実施・解説・ディスカッションで理解を深める	120 60	
【テキスト】		毎回、資料を作成して配布する			
【参考書・参考資料等】		講義中に適宜、配布する			
【成績評価基準・方法】		中間テスト(30%)、ビジネス企画発表(30%)、期末テスト(30%)、講義への参加意欲・態度(10%)など総合的に評価する			

教科番号	0936	授業科目： 経営リーダーシップ論(Management Leadership)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科 3年 2単位	担当者：	中川 充
【授業の到達目標】 授業の到達目標は、以下の2つである。 1. 最新の研究動向も含め、リーダーシップに関する基本的な知識を習得する 2. 学習した知識をもとに、現実の事象について受講生が自身のことばで説明できるようになる				
【授業の概要】 この授業では、リーダーシップについて、特にリーダーとフォロワーの関係性を中心に、関連する基本的な理論、知識を学習する。学習効果の向上を企図し、積極的にグループ・ワークやディスカッションを行う。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	イントロダクション	授業内容や成績評価方法などの説明	・次回資料の配布	
2	リーダーシップとは何か	リーダーシップの定義と分類	・配布資料を熟読 ・授業内容の復習	60 60
3	リーダー像とその特徴(1)	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	90 30
4	リーダー像とその特徴(2)	リーダーの資質と行動についての解説	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	60 60
5	リーダーとフォロワー(1)	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	30 90
6	リーダーとフォロワー(2)	リーダーとフォロワーの関係と役割についての解説	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	60 90
7	組織とメンバーの育成(1)	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	30 90
8	組織とメンバーの育成(2)	組織とメンバーの育成についての解説	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	60 90
9	影響力のマネジメント(1)	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	30 90
10	影響力のマネジメント(2)	影響力のマネジメントについての解説	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	60 90
11	ネットワークとリーダーシップ(1)	グループ・ワーク/ディスカッション	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	30 90
12	ネットワークとリーダーシップ(2)	ネットワークとリーダーシップについての解説	・テキスト次回部分を熟読 ・授業内容の復習	60 90
13	新しい時代のリーダー像(1)	グループワーク	・グループワーク課題の確認 ・発表準備	60 30
14	新しい時代のリーダー像(2)	グループ発表と討論	・発表準備 ・授業内容の復習	60 0
15	総括	これまでの授業の総括	・これまでの授業内容の確認 ・全体の復習	90 120
【テキスト】		初回の講義時に紹介、説明する。		
【参考書・参考資料等】				
【成績評価基準・方法】		期末試験(50%)とグループ発表を含む平常点(50%)を総合的に評価する。		

教科番号	0935 (1954)	授業科目: マーケティング論(マーケティング論Ⅰ)(Marketing 1)		
開講時期	前期	情報電子システム工学科 (1)年 2単位	担当者:	建宮 努
【授業の到達目標】 基本的なマーケティング用語の理解を皮切りに小売・流通業界の経営を学びながら、マーケティングの基本を学ぶ。 同時に学んだ内容を活用してマーケティングの公的資格である販売士3級の取得を目指すことができる。				
【授業の概要】 学生に身近なビジネスである小売業・流通業界の経営基本知識を学びながら、自らが経営的な視点をもってビジネスを鳥瞰できるような視点の育成を図る。学習内容は、公的資格である販売士3級の内容をベースにしており、就職対策としての販売士3級試験の取得も目指す内容である。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	マーケティング基本用語1	マンガや対話の事例からマーケティングの基本用語を学ぶ1	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
2	マーケティング基本用語2	マンガや対話の事例からマーケティングの基本用語を学ぶ2	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
3	販売・経営管理 1	接客マナー、クレーム対応、店舗運営など	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
4	販売・経営管理 2	小売業にかかわる法的知識について	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
5	販売・経営管理 3	小売業に必要な会計知識について	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
6	1～5回のまとめ	販売・経営管理関連知識についてディスカッション	ディスカッションにむけた予習および終了後に復習	30 60
7	マーケティング1	マーケティングプランニングと顧客管理	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
8	マーケティング2	店舗出店と売り場づくり	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
9	ストアオペレーション1	ディスプレイと陳列	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
10	ストアオペレーション2	顧客の購買心理過程	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
11	マーチャンダイジング	マーチャンダイジングサイクル関連	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
12	小売業の類型1	日本の小売業の特徴	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
13	小売業の類型2	さまざまな小売業別の特徴	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
14	7～13回のまとめ	マーケティング実務知識についてのディスカッション	ディスカッションにむけた予習および終了後に復習	30 60
15	まとめと総括	まとめと総括、重要ポイントの復習	重要ポイントを説明できるように練習する。	30 60
【テキスト】		「マンガで学ぼうマーケティング」「予想問題とイラストで合格販売士3級」第三版 建宮努著 中央経済社		
【参考書・参考資料等】		授業中に適時指示をする		
【成績評価基準・方法】		期末試験 70%、課題提出20%、授業態度(主に積極参加姿勢) 10%で総合的な評価を行う。		

教科番号	1955	授業科目: マーケティング論Ⅱ (Marketing 2)		
開講時期	後期	情報電子システム工学科	(1)年 2単位	担当者: 建宮 努
【授業の到達目標】 前記に学んだ基本的なマーケティング知識をベースに、ミドルマネジメントレベルの管理者としてのマーケティング実務知識を学ぶ。同時に学んだ内容を活用してマーケティングの公的資格である販売士2級の取得を目指すことができる。				
【授業の概要】 学生に身近なビジネスである小売業・流通業界の経営基本知識を学びながら、自らがミドルマネジメントレベルの経営的な視点をもってビジネスを鳥瞰できるような視点の育成を図る。学習内容は、公的資格である販売士2級の内容をベースにしており、就職対策としての販売士2級試験の取得も目指す内容である。				
【授業要旨】				
回数	題目	授業内容	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1	販売・経営管理 1	接客マナー、クレーム対応、店舗運営など	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
2	販売・経営管理 2	小売業にかかわる法的知識について	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
3	販売・経営管理 3	小売業に必要な会計知識について1	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
4	販売・経営管理4	小売業に必要な会計知識について2	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
5	販売・経営管理5	小売業に必要な会計知識について3	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
6	1～5回のまとめ	販売・経営管理関連知識についてディスカッション	ディスカッションにむけた予習および終了後に復習	30 60
7	マーケティング1	マーケティングプランニングと顧客管理	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
8	マーケティング2	店舗出店と売り場づくり	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
9	ストアオペレーション1	ディスプレイと陳列	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
10	ストアオペレーション2	顧客の購買心理過程	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
11	マーチャンダイジング	マーチャンダイジングサイクル関連	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
12	小売業の類型1	日本の小売業の特徴	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
13	小売業の類型2	さまざまな小売業別の特徴	テキストの該当箇所について予習、授業後に復習	30 60
14	7～13回のまとめ	マーケティング実務知識についてのディスカッション	ディスカッションにむけた予習および終了後に復習	30 60
15	まとめと総括	まとめと総括、重要ポイントの復習	重要ポイントを説明できるように練習する。	30 60
【テキスト】		「イラストと予想問題で合格リテールマーケティング販売士2級第四版」建宮努著中央経済社		
【参考書・参考資料等】		授業中に適宜指示を行う。		
【成績評価基準・方法】		期末試験 70%、課題提出20%、授業態度(主に積極参加姿勢)10%で総合的な評価を行う。		